

# 岩見沢市公共施設再編基本計画

平成 31 年 3 月

岩見沢市



# 目次

1. 公共施設再編基本計画について	1
(1) 本計画の目的	1
(2) 本計画の位置付け	2
(3) 計画期間	2
(4) 対象施設	2
2. 公共施設再編の進め方	3
(1) 公共施設再編の概要	3
(2) 施設評価	6
①一次評価（客観的評価）	6
②二次評価（横断的評価）	6
③総合評価（最終評価）	6
3. 施設の再編方針（方向性）	8
(1) 再編方針及び再編時期	8
(2) 施設群ごとの具体的な再編方針	9
①行政施設	9
②教育関係施設（学校教育）	16
③教育関係施設（社会教育）	25
④体育施設	29
⑤産業振興施設	35
⑥職員住宅・宿舎	42
⑦社会福祉施設（児童福祉）	47
⑧社会福祉施設（高齢・障がい・地域福祉）	52
⑨保健・医療	58
⑩集会施設・ホール等	62
⑪市営住宅等	73
⑫廃棄物処理施設	81
⑬火葬場、墓苑	82
⑭車庫・倉庫等	83
⑮その他	86
⑯小規模施設	87
⑰その他普通財産等	89
⑱インフラ施設	91
⑲企業会計	94
4. 計画の推進に向けて	100
(1) 推進体制と進行管理	100
(2) 情報公開と市民参加	100

## 《元号表記について》

今後、元号の変更が予定されていますが、本計画の策定時点では新元号が決まっていないため、表記の連続性及び分かりやすさの観点から、和暦で表記する箇所については平成の表記としました。

# 1. 公共施設再編基本計画について

## (1) 本計画の目的

本市では、高度経済成長期からバブル崩壊後の時期にかけて人口の増加基調が続き、市民生活の基盤となる公共施設等を数多く整備してきました。しかしながら、平成7年をピークに人口は減少に転じ、今後、市の主要な財源である市税の減少が見込まれ、同時に、施設の老朽化も進み、改修や更新に要する費用が市の財政を圧迫することが懸念されます。

こうした課題に対応するため、市では、平成28年度に「岩見沢市公共施設等総合管理計画」を策定し、今後の公共施設のあり方についての基本的な方針を定めました（図1-1参照）。

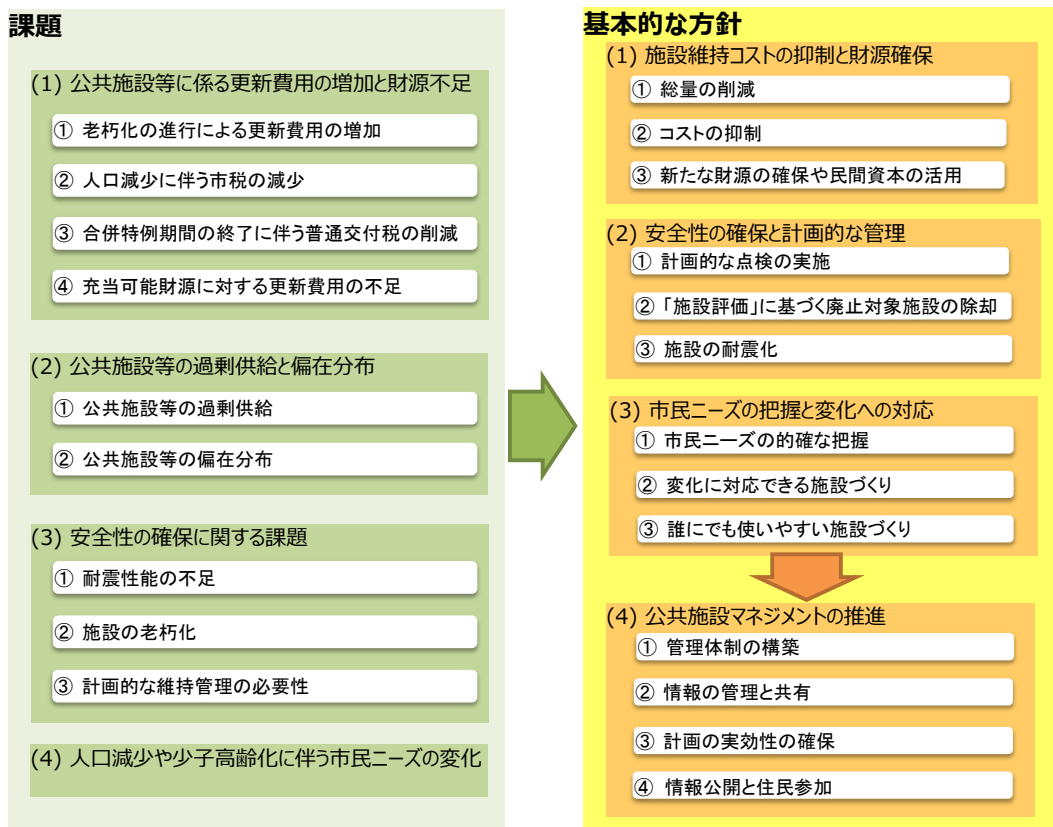


図 1-1 公共施設にかかる課題と基本的な方針（公共施設等総合管理計画）

この基本的な方針と合わせ、同計画では総量削減のために建築物系公共施設の総床面積を30年間で30%削減するという数値目標を掲げました。

本計画は、この数値目標を達成するため、老朽化やコスト、利用状況といった客観的なデータによる施設評価を実施し、個々の施設の再編の方向性を明確化することにより、公共施設等総合管理計画の実施における具体的取組みの指標とすることを目的としています。

## (2) 本計画の位置付け

本計画は、公共施設等総合管理計画に基づき推進する公共施設マネジメントにおける、個別計画の一つと位置付け、建築物系公共施設の再編に向けた基本となる計画として策定します。その後は、本計画に基づき策定する、施設（施設群）又は地区を単位とする個別施設計画にしたがって、具体的な再編を推進していくものとします（図 1-2 参照）。

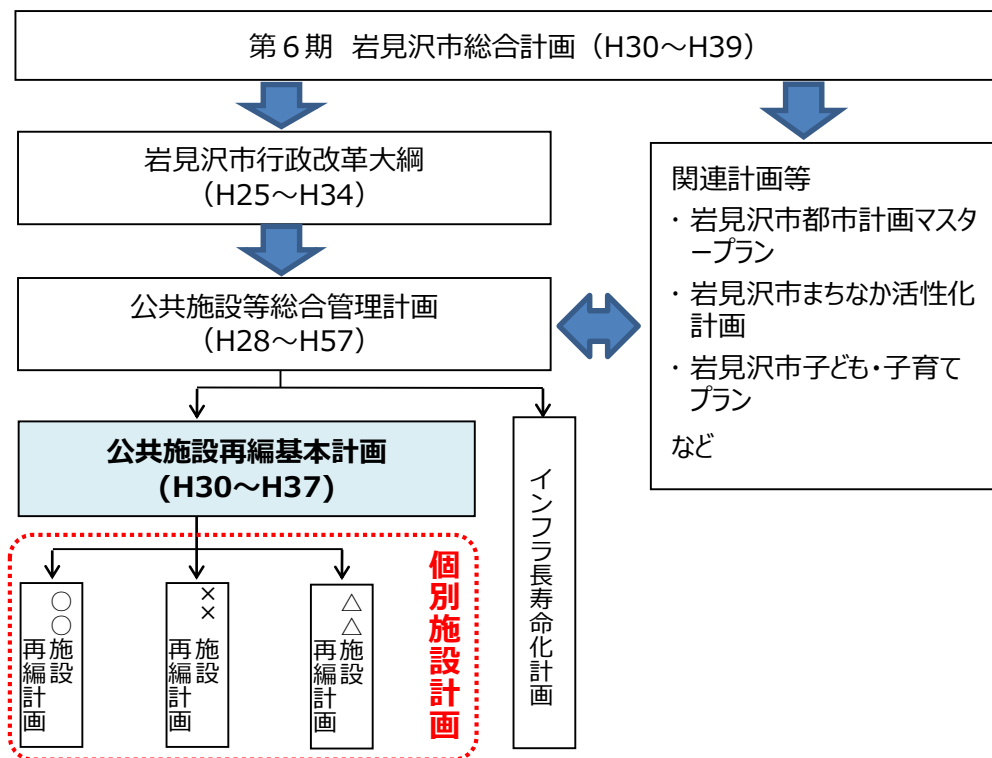


図 1-2 本計画の位置付け

## (3) 計画期間

本計画は、公共施設等総合管理計画の期間全体を見通しつつ、直近8年間である平成30年度から平成37年度までを計画期間とし、その後10年ごとに更新するものとします。

なお、計画期間を2つに分け、最初の4年間を前期、次の4年間を後期とします。

## (4) 対象施設

原則として、公共施設等総合管理計画同様、本市が保有する全ての建築物系公共施設を対象とします。ただし、倉庫、車庫、公衆便所等といった小規模施設は一括して検討します。

## 2. 公共施設再編の進め方

### (1) 公共施設再編の概要

公共施設再編の検討にあたっては、施設を機能ごとの施設群に区分し、施設群ごとに個々の施設の再編の方向性を検討していきます。施設群の区分は表 2-1 のとおりです。表 2-1 には施設群ごとの利用圏域も併記していますが、利用圏域の目安は表 2-2 のとおりです。評価は一次評価、二次評価、総合評価の 3 段階で実施していきます（図 2-1 参照）。

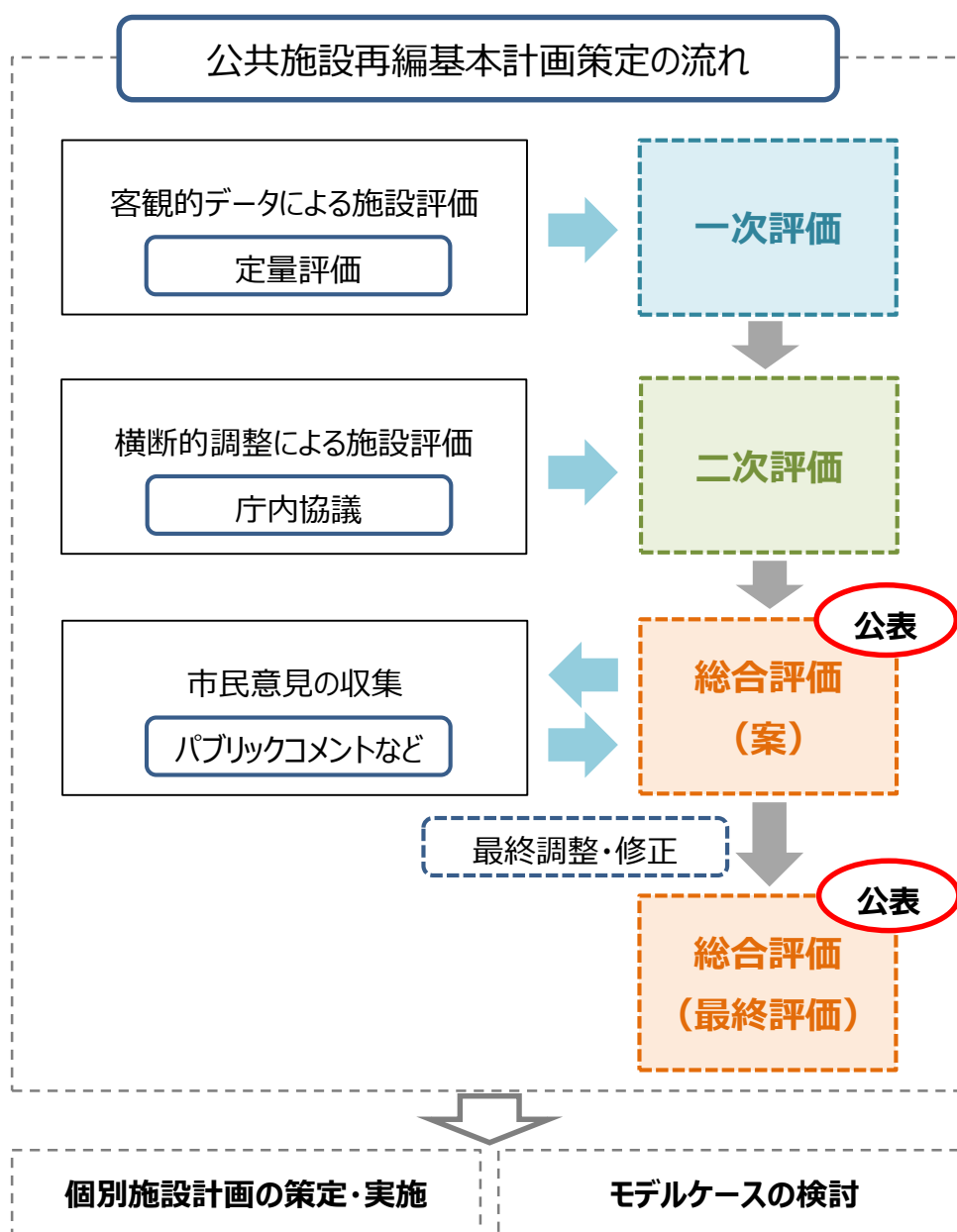


図 2-1 公共施設再編のフロー

表 2-1 施設群の区分及び利用圏域

施設群		施設数	延床面積 [m]	利用圏域
行政施設	市庁舎	3	8,454	市域
	支所	2	3,663	旧行政区域
	出張所	3	186	地域
	消防・防災	3	170	市域～地域
	であえーる岩見沢	4	40,834	市域
	有明交流プラザ	2	3,020	市域
教育関係施設（学校教育）	小学校	15	75,420	地域（小学校区）
	中学校	10	53,301	地域（中学校区）
	小・中学校付属施設	9	466	地域
	高等学校	2	11,340	広域
	給食センター	1	5,108	市域
	教育研究所	1	1,050	市域
教育関係施設（社会教育）	図書館	3	5,676	旧行政区域
	文化財等	2	809	市域
	社会教育施設（その他）	3	10,805	市域
体育施設	体育施設（屋内）	7	15,209	広域～旧行政区域
	プール	3	3,928	市域
	体育施設（屋外）	9	3,310	市域～旧行政区域
産業振興施設	産業振興施設（商工業）	6	12,792	広域～地域
	産業振興施設（観光）	7	7,890	広域
	産業振興施設（農政）	6	3,854	市域
	産業振興施設（ハロonz岩見沢）	2	3,679	広域
職員住宅・宿舍	教員住宅	33	4,575	地域
	市職員住宅	1	333	市域
社会福祉施設 （児童福祉）	児童館等	13	4,488	地域
	保育所等	6	2,938	※1
社会福祉施設 （高齢・障がい・地域福祉）	高齢者福祉センター	2	2,668	市域
	高齢者向け入所・入居施設	2	3,385	広域
	デイサービスセンター	3	2,702	旧行政区域～地域
	地域福祉施設	1	480	旧行政区域
	障がい福祉施設	1	310	市域
保健・医療	保健センター等	3	2,553	市域（一部広域）
	診療所（美流渡・万字地区）	3	704	地域
	高等看護学院	1	2,747	広域
集会施設・ホール等	文化・交流・集会施設（広域～旧行政区域）	11	29,260	広域～旧行政区域
	文化・交流・集会施設（地域）	5	4,390	地域
	文化・交流・集会施設（旧岩見沢地区）	8	3,987	自治会・町会（一部は市域）
	文化・交流・集会施設（旧北村地区）	8	3,746	自治会・町会
	文化・交流・集会施設（旧栗沢地区）	12	4,728	自治会・町会
	特定地方交通線転換促進関連施設	4	678	地域
市営住宅等	市営住宅	54	146,546	市域
	その他市有住宅	8	1,560	旧行政区域
廃棄物処理施設	廃棄物処理施設	7	19,895	市域
火葬場、墓苑	火葬場、墓苑	3	2,222	市域
車庫・倉庫等	道路管理事務所	3	1,723	市域
	その他の車庫・倉庫等	18	6,105	-
その他	その他の施設	2	1,908	広域
小規模施設	小規模施設	13	198	市域
その他普通財産等	その他普通財産等	15	17,732	-
インフラ施設	公園付属施設	24	9,877	-
	排水機場	3	655	市域
企業会計	インフラ（上水道施設関係）	18	7,899	市域
	インフラ（下水道施設関係）	11	28,257	市域
	病院	3	35,091	広域
	医師住宅・看護師宿舍	3	1,822	市域
合計		405	627,126	

※1 市域（病児保育施設・ふれあい子どもセンター・認定こども園）、地域（各保育所）

表 2-2 利用圏域の目安

利用圏域	考え方
広域	市の行政区域を越えた広域での利用が見込まれる施設
市域	市全域での利用が見込まれる施設
旧行政区域	旧行政区域（旧岩見沢市、旧北村、旧栗沢町）単位での利用が見込まれる施設
地域	一定の地域単位での利用が見込まれる施設
自治会・町会	単一又は複数の自治会・町会での利用が見込まれる施設

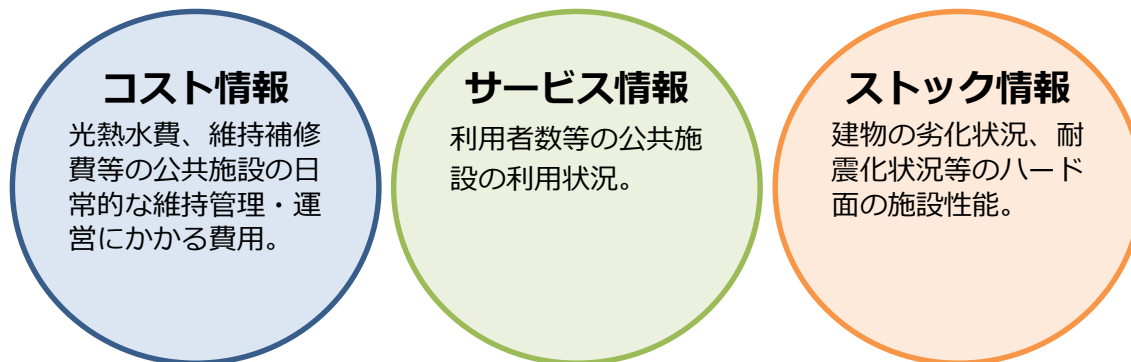


## (2) 施設評価

### ①一次評価（客観的評価）

#### 1) 施設評価

施設の維持管理に関わるコスト情報、施設の利用状況に関わるサービス情報、施設の老朽化、耐震化等のストック情報といった客観的なデータに基づき評価を実施します。



#### 2) 方向性の整理

客観的なデータに基づいた施設評価結果も踏まえ、個々の施設についての方  
向性や再編時期を、施設機能と建物本体に分けて整理します。

### ②二次評価（横断的評価）

一次評価結果を活用し、施設を所管する部署へのヒアリングや庁内横断的な  
協議を経て、市の庁内合意結果として調整したものを二次評価結果とし、この  
結果を総合評価案（計画案）として公表します。

### ③総合評価（最終評価）

計画案の公表等を通じ、市民ニーズの把握に努めながら、再調整や修正を行  
い、最終的な総合評価とします。

## 施設評価例

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [㎡]	建築年	大規模 改修 実施年	① 経過年	② ③ ④ 一次評価		
					性能 (/100点)	コスト (円/㎡)	利用 (人/㎡)
有明交流プラザ	1,525.24	2009	-	9	90	20,091	6.2
岩見沢駅屋内自転車駐車場	1,494.92	2009	-	9	100	9,283	0.9
合計	3,020.16		平均	9	95	14,687	3.6

#### ①経過年

建築後の経過した年数（赤字は改修時期の目安である30年以上経過）  
※複数の棟で構成される施設は最も大きい棟の建築年により計算

#### ②性能（ストック情報）

以下6項目について施設管理者アンケートをもとに100点満点で点数化  
（赤字は50点未満）

外壁：建物の外壁修繕実施の有無  
屋根・屋上：建物の屋根・屋上の防水工事実施の有無  
耐震性能：耐震基準と耐震診断実施の有無  
冷暖房：冷暖房設備の年式と稼働状況  
給排水：建物の給排水管の更新工実施の有無  
昇降機：施設内のエレベータについて

#### ③コスト（コスト情報）

延床面積1㎡当たりの光熱水費、維持補修費等の公共施設の日常的な維持管理・運営にかかる費用の合計金額（赤字はグループ内平均値超）  
※施設使用料等の収入を費用から差し引いた上で計算  
（収入が費用を上回る場合は、マイナスで表記）

#### ④利用（サービス情報）

延床面積1㎡当たりの利用人数等（赤字はグループ内平均値未満）

### ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

#### 施設群としての再編の方向性

現状分析	・貸館機能の稼働率が2割以下と低い ・今後の施設のあり方の検討について、JR岩見沢駅との協調を要する
基本的な考え方	・駅舎との複合施設で比較的新しい施設であり、維持を基本とする
再編検討の方向性	・長寿命化を前提とした、維持方針とする

基本的に建替は法定耐用年数、  
改修は建築後30年。

#### 施設ごとの方向性

施設名	方向性（第1期）	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
有明交流プラザ	維持				方向性の検討
	継続使用				
岩見沢駅屋内自転車駐車場	維持				方向性の検討
	継続使用				

【施設機能】 維持 移転・統合 廃止 協議  
【建物本体】 継続使用 建替 改修 譲渡 転用 除却

### 3. 施設の再編方針（方向性）

#### (1) 再編方針及び再編時期

施設再編の検討は、今後 28 年間について行います。最初の 8 年間に第 1 期（平成 30～37 年度）、次の 10 年間に第 2 期（平成 38～47 年度）、最後の 10 年間に第 3 期（平成 48～57 年度）とします。第 1 期については前期（平成 30～33 年度）、後期（平成 34～37 年度）に分けて検討します。

施設評価は施設機能と建物本体に分けて検討しますが、施設機能については、利用状況やコスト状況、市で行うべきサービスであるかという施設の必置性を考慮しながら、個々の施設について〔維持〕〔移転・統合〕〔廃止〕〔協議〕の方向性を検討していきます（定義は表 3-1 参照）。

建物本体については、現状の施設機能を維持する場合には、〔継続使用〕〔建替〕〔改修〕を、移転・統合、廃止する場合には、〔譲渡〕〔転用〕〔除却〕の方向性を個々の施設について検討していきます（定義は表 3-1 参照）。

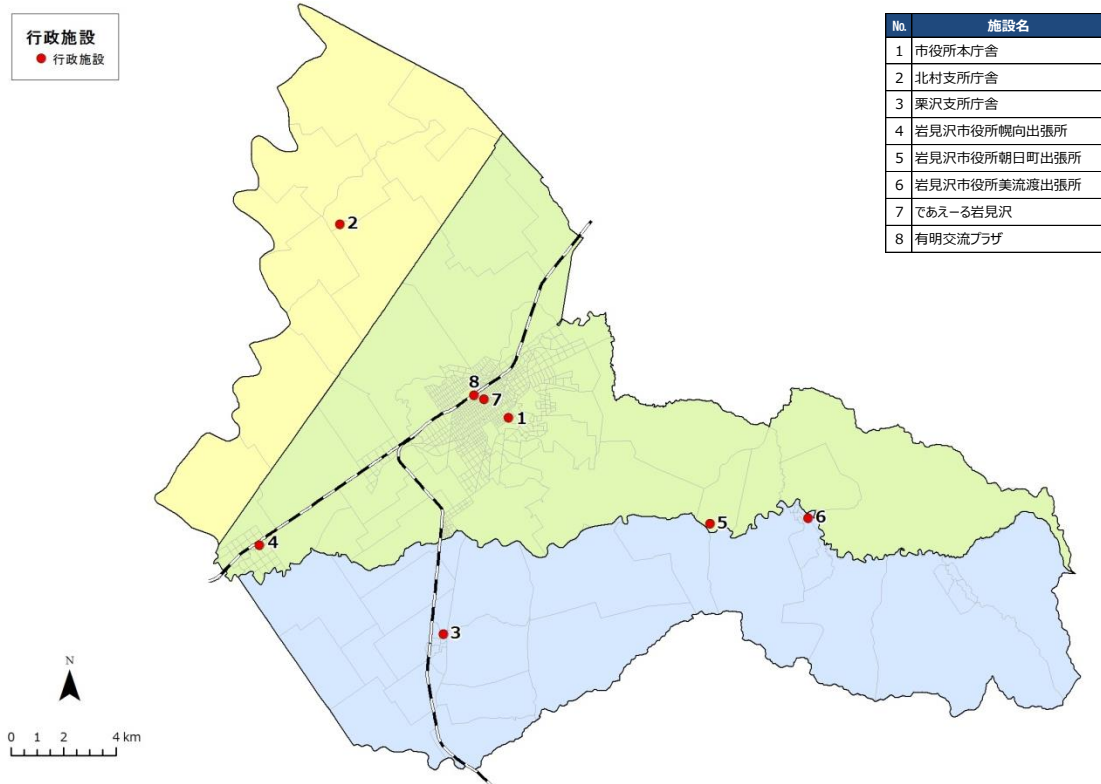
再編時期については、機能を直ちに廃止する場合を除いては、基本的に建物本体の使用可能年数あるいは改修時期が到達する時期を再編検討時期としました。その際、使用可能年数は財務省令の法定耐用年数を、改修時期は公共施設等総合管理計画において目安とした 30 年を適用しました。ただし、木造や軽量鉄骨造など、大規模な改修を予定しない建物については、改修時期を設定しないものとします。

表 3-1 施設機能・建物本体の評価の定義

区分	施設評価	考え方
施設機能	維持	現在と同じ場所において、継続して維持していく必要のある機能。
	移転・統合	現在と別の場所において、継続して維持していく必要のある機能。既存の別の場所における施設機能と統合する場合を含む。
	廃止	今後、市として継続して維持していく必要のない機能。一部事務組合や民間等、別団体に機能を移したり、統合する場合を含む。
	協議	今後、地元と協議しながら具体的な再編を進める必要のある機能。
建物本体	継続使用	今後しばらく築年数が改修時期、使用可能年数に到達せず、現在と同じ機能でそのまま使っていく建物。
	建替	現在と同じ場所で機能を維持していくものの、築年数が使用可能年数に到達あるいは近い将来に到達する見込みで、建替の必要がある建物。
	改修	現在と同じ場所で機能を維持していくものの、築年数が改修時期に到達あるいは近い将来に改修時期に到達する見込みで、改修の必要がある建物。
	譲渡	一部事務組合や民間等、別団体に対し、有償又は無償で譲ろうとする建物。
	転用	今後しばらく築年数が改修時期、使用可能年数に到達しないものの、現在の機能を廃止するため、別の機能に変更して使っていく建物。
	除却	今後使用する見込みがなく、取り壊す建物。

## (2) 施設群ごとの具体的な再編方針

### ① 行政施設



### 市庁舎

#### ■ 施設の概要

設置目的	行政サービスの提供や防災の拠点とするため		
施設総数	3 施設	総延床面積	8,454 m <sup>2</sup>
対象圏域	市域		
関連計画	岩見沢市新庁舎建設基本計画		

#### ■ 施設一覧

##### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
市役所本庁舎	6,534.96	1965	-	53	50	8,139	-	
職員会館	965.22	1974	-	44	40	-	-	
水道庁舎	954.00	1984	-	34	40	-	-	
合計	8,454.18		平均	44	43	8,139	-	

■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

施設群としての再編の方向性

現状分析	・平成33年度完成に向け、新庁舎の建設を検討中である
基本的な考え方	・行政サービスの要となるため、市域で1箇所設置する
再編検討の方向性	・「新庁舎建設基本計画」における基本理念及び基本方針に基づく建替を実施する

施設ごとの方向性

施設名	方向性 (第1期)	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
市役所本庁舎、職員会館、水道庁舎	維持				
	建替	建替			

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議		
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却

## 支所

### ■ 施設の概要

設置目的	合併前の旧町村地域における行政サービスや地域活性化の拠点とするため		
施設総数	2 施設	総延床面積	3,663 m <sup>2</sup>
対象圏域	旧行政区域		
関連計画	-		

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
北村支所庁舎	2,963.24	2003	-	15	83	6,982	-	北村学習交流館と複合
栗沢支所庁舎	699.79	2016	-	2	100	-	-	
合計	3,663.03	平均		9	92	6,982	-	

### ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

#### 施設群としての再編の方向性

現状分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両支所とも比較的新しく、施設性能も高い</li> <li>・北村支所の延床面積が過剰であり、遊休・不要スペースが多い</li> </ul>
基本的な考え方	・本庁舎を配置的に補完する行政サービスの提供のため、旧行政区域ごとに1箇所設置する
再編検討の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支所機能は維持とする</li> <li>・北村支所については遊休スペースの利活用又は減築を検討し、今後の利活用状況を見て大規模改修を実施する</li> </ul>

#### 施設ごとの方向性

施設名	方向性 (第1期)	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
北村支所庁舎	維持	遊休スペースの利活用促進方策の検討		方向性の検討	
	継続使用				
栗沢支所庁舎	維持				
	継続使用				

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議		
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却

## 出張所

### ■ 施設の概要

設置目的	地域における行政サービスの拠点とするため		
施設総数	3 施設	総延床面積	186 m <sup>2</sup>
対象圏域	地域		
関連計画	-		

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
岩見沢市役所幌向出張所	71.30	2000	-	18	80	11,960	-	幌向コミュニティセンターと複合
岩見沢市役所朝日町出張所	38.09	1999	-	19	60	8,700	-	朝日コミュニティ交流センターと複合
岩見沢市役所美流渡出張所	76.36	1976	-	42	50	1,305	-	消防署と複合
合計	185.75	平均		26	63	7,322	-	

### ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

#### 施設群としての再編の方向性

現状分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>幌向・朝日出張所は比較的新しいものの、美流渡出張所は老朽化が著しい</li> <li>3施設ともに複合施設である</li> </ul>
基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>本庁舎や支所との距離を勘案して設置する</li> </ul>
再編検討の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の人口減少や住民票のコンビニ交付開始等もあり、将来の需要予測も踏まえた出張所機能のあり方について検討を要する</li> <li>今後の人口動態や地域での利用状況等を勘案し、適正配置を検討する</li> </ul>

#### 施設ごとの方向性

施設名	方向性 (第1期)	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
岩見沢市役所幌向出張所	維持			方向性の検討	
	継続使用				
岩見沢市役所朝日町出張所	維持			方向性の検討	
	継続使用				
岩見沢市役所美流渡出張所	維持			方向性の検討	
	継続使用				

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議		
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却

## 消防・防災

### ■ 施設の概要

設置目的	第3分団器具置場 自然災害の防除及びこれらの被害を軽減するため 万字防災センター 防災対策及び消防団員打合せ等を行うため 北村地区河川水防センター 排水ポンプなどの水防資機材の備蓄や、水防活動の研修及び啓発の場とするため		
施設総数	3 施設	総延床面積	170 m <sup>2</sup>
対象圏域	市域～地域		
関連計画	岩見沢市地域防災計画		

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
第3分団器具置場	59.47	1969	-	49	-	-	-	
万字防災センター	38.88	1981	-	37	-	-	-	
北村地区河川水防センター	72.00	2008	-	10	-	-	-	札幌開発建設部と複合
合計	170.35	平均		32	-	-	-	

### ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

#### 施設群としての再編の方向性

現状分析	・北村地区河川水防センターを除く施設は老朽化が進行しており、施設性能の低下が著しい
基本的な考え方	・岩見沢市地域防災計画に基づき、消防事務組合への移管や機能移転を検討する
再編検討の方向性	・防災拠点としての必要性を検討の上、必須であれば維持する

#### 施設ごとの方向性

施設名	方向性	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
第3分団器具置場	移転・統合		移転・統合		
	除却		除却（又は移管）	消防団の活動拠点として消防への移管を検討 (地域の既存施設等への機能移転も併せて検討)	
万字防災センター	移転・統合		移転・統合		
	除却		除却（又は移管）		
北村地区河川水防センター	維持				
	継続使用				

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議		
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却



## であえーる岩見沢

### ■ 施設の概要

設置目的	中心市街地活性化の核となる施設として再生することで、市民の消費生活及び利便性の向上や商店街の活性化、中心市街地の活性化を図るため		
施設総数	4 施設	総延床面積	40,834 m <sup>2</sup>
対象圏域	市域		
関連計画	-		

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
であえーる岩見沢 (行政財産)	4,653.26	1988	-	30	33	1,988	-	2011年より市有
であえーる岩見沢	19,101.13	1988	-	30	33	1,056	-	2011年より市有、普通財産
であえーる岩見沢駐車場 (行政財産)	828.40	1988	-	30	60	649	-	2011年より市有
であえーる岩見沢駐車場	16,250.75	1988	-	30	60	1,206	-	2011年より市有、普通財産
合計	40,833.54		平均	30	47	1,225	-	

### ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

#### 施設群としての再編の方向性

現状分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の老朽化進行に伴う影響が懸念される</li> <li>市の行政機能の相当部分を担っている</li> </ul>
基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政サービスの提供の必要性及び設備修繕の実施状況を勘案して継続使用する</li> </ul>
再編検討の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>長寿命化を前提とした、維持方針とする</li> </ul>

#### 施設ごとの方向性

施設名	方向性 (第1期)	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
であえーる岩見沢 (行政財産)	維持				
	改修	改修			
であえーる岩見沢	維持				
	改修	改修			
であえーる岩見沢駐車場 (行政財産)	維持				
	改修	改修			
であえーる岩見沢駐車場	維持				
	改修	改修			

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議			
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却	

## 有明交流プラザ

### ■ 施設の概要

設置目的	有明交流プラザ 市民の幅広い交流を促進し、市民生活の質的な向上と地域社会の活性化を図るため 岩見沢駅屋内自転車駐車場 道路交通の円滑化と自転車等利用者の利便を図るため		
施設総数	2 施設	総延床面積	3,020 m <sup>2</sup>
対象圏域	市域		
関連計画	-		

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
有明交流プラザ	1,525.24	2009	-	9	90	20,091	6.2	JR岩見沢駅と複合
岩見沢駅屋内自転車駐車場	1,494.92	2009	-	9	100	9,283	0.9	JR岩見沢駅と複合
合計	3,020.16	平均		9	95	14,687	3.5	

#### 詳細情報

施設名	利用者数[人]			1m <sup>2</sup> あたりの利用者数[人]			貸館機能稼働率		
	H25	H26	H27	H25	H26	H27	H25	H26	H27
有明交流プラザ	4,695	12,869	9,390	3.1	8.4	6.2	24.0%	14.7%	18.9%
岩見沢駅屋内自転車駐車場	1,416	1,383	1,363	0.9	0.9	0.9	-	-	-
平均	3,056	7,126	5,377	2.0	4.7	3.5	24.0%	14.7%	18.9%

### ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

#### 施設群としての再編の方向性

現状分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>貸館機能の稼働率が2割以下と低い</li> <li>今後の施設のあり方の検討について、JR岩見沢駅との協調を要する</li> </ul>
基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅舎との複合施設で比較的新しい施設であり、維持を基本とする</li> </ul>
再編検討の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>長寿命化を前提とした、維持方針とする</li> </ul>

#### 施設ごとの方向性

施設名	方向性 (第1期)	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
有明交流プラザ	維持				方向性の検討
	継続使用				
岩見沢駅屋内自転車駐車場	維持				方向性の検討
	継続使用				

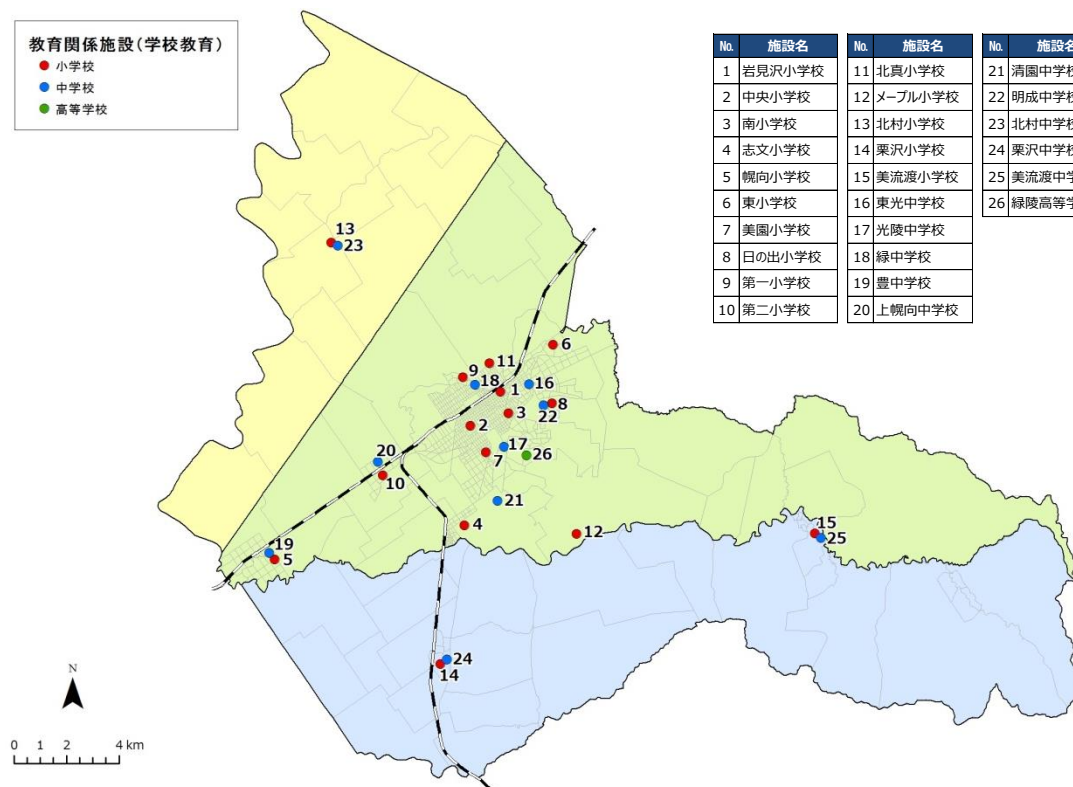
【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議		
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却

## ②教育関係施設（学校教育）

教育関係施設(学校教育)

- 小学校
- 中学校
- 高等学校

No.	施設名	No.	施設名	No.	施設名
1	岩見沢小学校	11	北真小学校	21	清園中学校
2	中央小学校	12	メ-フル小学校	22	明成中学校
3	南小学校	13	北村小学校	23	北村中学校
4	志文小学校	14	栗沢小学校	24	栗沢中学校
5	幌向小学校	15	美流渡小学校	25	美流渡中学校
6	東小学校	16	東光中学校	26	緑陵高等学校
7	美園小学校	17	光陵中学校		
8	日の出小学校	18	緑中学校		
9	第一小学校	19	豊中学校		
10	第二小学校	20	上幌向中学校		



## 小学校

### ■ 施設の概要

設置目的	義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すため		
施設総数	15 施設	総延床面積	75,420 m <sup>2</sup>
対象圏域	地域（小学校区）		
関連計画	岩見沢市立小・中学校の適正配置に関する基本計画（平成26～30年度）		

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
岩見沢小学校	5,927.00	2012	-	6	100	1,897	0.052	
中央小学校	5,718.00	1979	-	39	-	-	0.058	
南小学校	6,586.00	1975	2016	2	-	-	0.059	
志文小学校	5,161.00	2014	-	4	100	2,261	0.053	
幌向小学校	5,468.00	1982	-	36	30	2,550	0.047	
東小学校	5,841.00	1981	-	37	10	2,117	0.060	
美園小学校	5,458.00	1969	1998	20	10	2,316	0.080	大規模改修は一部対象外
日の出小学校	5,966.00	2006	-	12	100	2,387	0.065	
第一小学校	6,183.00	2014	-	4	100	2,219	0.070	
第二小学校	3,076.00	1973	-	45	40	2,848	0.041	
北真小学校	3,321.00	1987	-	31	40	2,803	0.033	
メーブル小学校	2,280.00	1999	-	19	40	2,763	0.012	
北村小学校	5,165.00	1996	-	22	50	2,473	0.020	
栗沢小学校	6,415.00	1991	-	27	20	2,665	0.035	
美流渡小学校	2,855.00	1978	-	40	10	3,985	0.004	
合計	75,420.00		平均	23	50	2,560	0.046	

#### 詳細情報

施設名	主体構造	地上 階数	地下 階数	児童数[人]			1人当たりの延床面積[m <sup>2</sup> /人]			学級数	
				H25	H26	H27	H25	H26	H27	H26	H31 (計画値)
岩見沢小学校	鉄筋コンクリート	3	0	314	319	311	18.9	18.6	19.1	7-11学級	12学級以上
中央小学校	鉄筋コンクリート	3	0	355	347	331	16.1	16.5	17.3	12学級以上	12学級以上
南小学校	鉄筋コンクリート	3	0	401	395	389	16.4	16.7	16.9	12学級以上	12学級以上
志文小学校	鉄筋コンクリート	3	0	310	293	276	16.6	17.6	18.7	12学級以上	7-11学級
幌向小学校	鉄筋コンクリート	3	0	295	276	258	18.5	19.8	21.2	7-11学級	6学級
東小学校	鉄筋コンクリート	3	0	365	372	349	16.0	15.7	16.7	12学級以上	12学級以上
美園小学校	鉄筋コンクリート	3	0	444	446	435	12.3	12.2	12.5	12学級以上	12学級以上
日の出小学校	鉄筋コンクリート	3	0	422	414	389	14.1	14.4	15.3	12学級以上	12学級以上
第一小学校	鉄筋コンクリート	3	0	433	416	430	14.3	14.9	14.4	12学級以上	12学級以上
第二小学校	鉄筋コンクリート	2	0	146	134	127	21.1	23.0	24.2	6学級	6学級
北真小学校	鉄筋コンクリート	3	0	109	108	111	30.5	30.8	29.9	6学級	6学級
メーブル小学校	鉄筋コンクリート	1	0	22	25	27	103.6	91.2	84.4	複式学級	複式学級
北村小学校	鉄筋コンクリート	2	0	126	103	105	41.0	50.1	49.2	6学級	6学級
栗沢小学校	鉄筋コンクリート	2	0	241	230	224	26.6	27.9	28.6	7-11学級	6学級
美流渡小学校	鉄筋コンクリート	2	0	21	13	12	136.0	219.6	237.9	複式学級	複式学級
平均	-	-	-	267	259	252	33.5	39.3	40.4	-	-

## ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

### 施設群としての再編の方向性

現状分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校の床面積合計は市内の公共建築物の総面積の約2割に相当する</li> <li>・適正規模に満たない学校が存在している中、今後も児童数の減少が見込まれている</li> <li>・現行の適正配置計画は、平成30年度までとなっている</li> <li>・耐震改修は100%完了している</li> </ul>
基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校の適正配置に関する基本計画に基づき検討する</li> </ul>
再編検討の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童数の減少に対応し、統廃合など総量の削減に向けた適正配置を推進する</li> <li>・平成32年度までに個別施設計画（長寿命化計画）を策定する</li> <li>・中長期的に維持すべき施設については、計画的な維持・改修や長寿命化改修等を進める</li> <li>・周辺の他の用途施設との複合化を図る（小中一貫校、児童館の再編など）</li> </ul>

### 施設ごとの方向性

施設名	方向性（第1期）	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
岩見沢小学校	別計画				
中央小学校	別計画	移転・統合 除却			
南小学校	別計画				
志文小学校	別計画				
幌向小学校	別計画				
東小学校	別計画	改修			
美園小学校	別計画				
日の出小学校	別計画	岩見沢市立小・中学校の適正配置に関する基本計画に基づき検討			
第一小学校	別計画				
第二小学校	別計画				
北真小学校	別計画				
メープル小学校	別計画				
北村小学校	別計画				
栗沢小学校	別計画				
美流渡小学校	別計画	廃止 除却			

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議		
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却

## 中学校

### ■ 施設の概要

設置目的	小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を施すため		
施設総数	10 施設	総延床面積	53,301 m <sup>2</sup>
対象圏域	地域（中学校区）		
関連計画	岩見沢市立小・中学校の適正配置に関する基本計画（平成26～30年度）		

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
東光中学校	7,102.00	2008	-	10	100	2,357	0.057	
光陵中学校	10,220.00	1997	-	21	50	2,764	0.062	
緑中学校	5,870.00	2007	-	11	100	2,421	0.045	
豊中学校	4,889.00	1986	-	32	20	2,000	0.035	
上幌向中学校	3,777.00	1989	-	29	20	2,568	0.015	
清園中学校	4,776.00	1982	-	36	40	2,738	0.041	
明成中学校	5,327.00	1984	-	34	20	2,409	0.034	
北村中学校	3,608.00	2011	-	7	100	2,583	0.017	
栗沢中学校	5,029.44	1971	1991	27	30	2,382	0.023	
美流渡中学校	2,703.00	1975	2010	8	92	4,705	0.004	
合計	53,301.44		平均	22	57	2,693	0.033	

#### 詳細情報

施設名	主体構造	地上 階数	地下 階数	生徒数[人]			1人当たりの延床面積[m <sup>2</sup> /人]			学級数	
				H25	H26	H27	H25	H26	H27	H26	H31 (計画値)
東光中学校	鉄筋コンクリート	3	0	390	392	405	18.2	18.1	17.5	9学級以上	9学級以上
光陵中学校	鉄筋コンクリート	3	0	646	609	633	15.8	16.8	16.1	9学級以上	9学級以上
緑中学校	鉄骨鉄筋コンクリート	2	0	303	271	267	19.4	21.7	22.0	9学級以上	9学級以上
豊中学校	鉄筋コンクリート	3	0	193	185	169	25.3	26.4	28.9	4-8学級	4-8学級
上幌向中学校	鉄筋コンクリート	2	0	60	57	57	63.0	66.3	66.3	3学級	3学級
清園中学校	鉄筋コンクリート	3	0	231	224	198	20.7	21.3	24.1	4-8学級	4-8学級
明成中学校	鉄筋コンクリート	3	0	201	183	182	26.5	29.1	29.3	4-8学級	9学級以上
北村中学校	鉄筋コンクリート	2	0	81	68	60	44.5	53.1	60.1	3学級	3学級
栗沢中学校	鉄筋コンクリート	3	0	112	120	114	44.9	41.9	44.1	4-8学級	4-8学級
美流渡中学校	鉄筋コンクリート	3	0	15	11	12	180.2	245.7	225.3	複式学級	複式学級
平均	-	-	-	223	212	210	45.9	54.0	53.4	-	-

## ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

### 施設群としての再編の方向性

現状分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校の床面積合計は市内の公共建築物の総面積の約2割に相当する</li> <li>・適正規模に満たない学校が存在している中、今後も生徒数の減少が見込まれている</li> <li>・現行の適正配置計画は、平成30年度までとなっている</li> <li>・耐震改修は100%完了している</li> </ul>
基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校の適正配置に関する基本計画に基づき検討する</li> </ul>
再編検討の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒数の減少に対応し、統廃合など総量の削減に向けた適正配置を推進する</li> <li>・平成32年度までに個別施設計画（長寿命化計画）を策定する</li> <li>・中長期的に維持すべき施設については、計画的な維持・改修や長寿命化改修等を進める</li> <li>・周辺の他の用途施設との複合化を図る（小中一貫校など）</li> </ul>

### 施設ごとの方向性

施設名	方向性（第1期）	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
東光中学校	別計画				
光陵中学校	別計画				
緑中学校	別計画				
豊中学校	別計画				
上幌向中学校	別計画				
清園中学校	別計画	岩見沢市立小・中学校の適正配置に関する基本計画に基づき検討			
明成中学校	別計画				
北村中学校	別計画				
栗沢中学校	別計画				
美流渡中学校	別計画	廃止 転用（又は除却）	閉校後、建物の利活用について地元と協議した上で再編を検討		

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議		
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却

## 小・中学校付属施設

### ■ 施設の概要

設置目的	プール更衣室・屋外便所 心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を施すため 田でんガーデン・米っこハウス 小学生が農業に親しむことを目的とするため		
施設総数	9 施設	総延床面積	466 m <sup>2</sup>
対象圏域	地域		
関連計画	岩見沢市立小・中学校の適正配置に関する基本計画（平成26～30年度）		

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
美流渡プール	219.19	2000	-	18	25	-	-	
東小学校プール更衣室	29.97	1979	-	39	0	-	-	
第二小学校プール更衣室	29.97	1995	-	23	25	-	-	
日の出小学校プール更衣室	28.65	1975	-	43	10	-	-	
美園小学校プール更衣室	29.43	1974	-	44	0	-	-	
北真小学校プール更衣室	29.43	1988	-	30	25	-	-	
幌向小学校プール更衣室	29.43	1970	-	48	0	-	-	
栗沢小学校屋外便所	50.22	1992	-	26	25	-	-	
田でんガーデン・米っこハウス	19.44	2002	-	16	80	-	-	
合計	465.73		平均	32	21	-	-	

### ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

#### 施設群としての再編の方向性

現状分析	・施設全体の老朽化状況及び維持管理費用の実態の把握が必要である
基本的な考え方	・施設の更新や長寿命化改修は実施せず、学校プールは段階的な廃止を検討する
再編検討の方向性	・学校プールは、公共プールとの機能分担を考慮しつつ、段階的な廃止を検討する ・その他施設は、維持管理経費が発生しないことを前提に更新年到達時まで維持の上、廃止する

#### 施設ごとの方向性

施設名	方向性（第1期）	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
各学校プール	廃止 除却	美流渡プールは、廃止・除却を進める	段階的な廃止の検討		
栗沢小学校屋外便所	維持 継続使用			方向性の検討	
田でんガーデン・米っこハウス	廃止 除却		廃止 除却		

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議		
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却



## 高等学校

### ■ 施設の概要

設置目的	緑陵高等学校 市立高校として、地域の良さを学び地域社会の発展に貢献できる人材の育成を目指すため 室内練習場 体育の授業及び野球部等の練習に使用するため		
施設総数	2 施設	総延床面積	11,340 m <sup>2</sup>
対象圏域	広域		
関連計画	-		

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
緑陵高等学校	10,072.00	1990	-	28	20	2,919	-	
室内練習場	1,268.40	1984	-	34	40	888	-	
合計	11,340.40	平均		31	30	1,904	-	

### ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

#### 施設群としての再編の方向性

現状分析	・施設の老朽化が進行している
基本的な考え方	・現行配置を維持する
再編検討の方向性	・高等学校については、長寿命化を前提とした、維持を基本とする ・室内練習場については、更新年到達時に廃止とする

#### 施設ごとの方向性

施設名	方向性 (第1期)	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
緑陵高等学校	維持	余裕空間の利活用促進方策の検討			
	改修		改修		
室内練習場	維持				方向性の検討
	継続使用				

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議		
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却

## 給食センター

### ■ 施設の概要

設置目的	児童及び生徒の心身の健全な発達に資するため		
施設総数	1 施設	総延床面積	5,108 m <sup>2</sup>
対象圏域	市域		
関連計画	岩見沢市立小・中学校の適正配置に関する基本計画（平成26～30年度）		

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
学校給食共同調理所	5,107.89	2017	-	1	-	-	-	
合計	5,107.89		平均	1	-	-	-	

### ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

#### 施設群としての再編の方向性

現状分析	・集約化により新築・移転済みである
基本的な考え方	・市域で1箇所設置する
再編検討の方向性	・長寿命化を前提とした、維持を基本とする

#### 施設ごとの方向性

施設名	方向性 (第1期)	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
		上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47
学校給食共同調理所	維持	H29統合済			
	継続使用				

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議		
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却

## 教育研究所

### ■ 施設の概要

設置目的	本市の地域性に即した教育の改善、振興等に資するため		
施設総数	1 施設	総延床面積	1,050 m <sup>2</sup>
対象圏域	市域		
関連計画	-		

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
教育研究所	1,050.00	2007	-	11	90	5,745	-	北海道教育大と複合
合計	1,050.00	平均		11	90	5,745	-	

### ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

#### 施設群としての再編の方向性

現状分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道教育大の施設と複合している</li> <li>教職員の研修や登校支援室としての機能を保持する</li> </ul>
基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>現行配置を維持する</li> </ul>
再編検討の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>長寿命化を前提とした、維持を基本とする</li> </ul>

#### 施設ごとの方向性

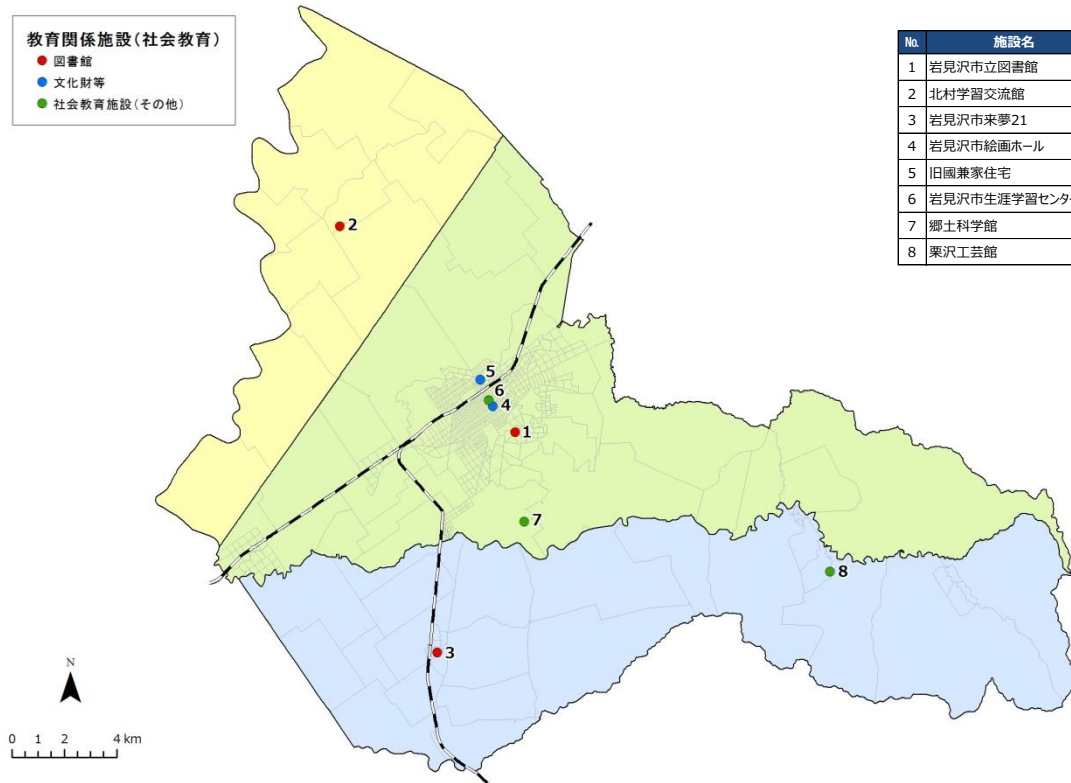
施設名	方向性 (第1期)	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
		上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47
教育研究所	維持				方向性の検討
	継続使用				

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議		
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却

### ③教育関係施設（社会教育）

教育関係施設（社会教育）	
●	図書館
●	文化財等
●	社会教育施設（その他）

No.	施設名
1	岩見沢市立図書館
2	北村学習交流館
3	岩見沢市来夢21
4	岩見沢市絵画ホール
5	旧國兼家住宅
6	岩見沢市生涯学習センター
7	郷土科学館
8	栗沢工芸館



### 図書館

#### ■施設の概要

設置目的	岩見沢市立図書館 幅広い世代に対応した多彩な読書普及活動を展開するため 北村学習交流館 市民の社会教育活動及び地域文化の振興を図るため 岩見沢市来夢21 郷土愛の高揚及び児童の情操豊かで健全な心身の育成を図るため	
施設総数	3 施設	総延床面積 5,676 m <sup>2</sup>
対象圏域	旧行政区域	
関連計画	-	

#### ■施設一覧

##### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
岩見沢市立図書館	3,307.20	2001	-	17	67	6,242	49.6	
北村学習交流館	398.50	2003	-	15	80	64	18.4	北村支所庁舎と複合
岩見沢市来夢21	1,969.83	1995	-	23	67	4,113	21.0	
合計	5,675.53		平均	18	71	3,473	29.7	

詳細情報

施設名	蔵書数[冊]			貸出冊数/蔵書数			入館者数[人]			1mあたりの入館者数[人]		
	H25	H26	H27	H25	H26	H27	H25	H26	H27	H25	H26	H27
岩見沢市立図書館	232,128	237,071	244,067	1.5	1.4	1.4	164,121	164,670	164,023	49.6	49.8	49.6
北村学習交流館	13,893	14,729	15,137	1.2	1.1	1.1	7,289	7,298	7,339	18.3	18.3	18.4
岩見沢市来夢21	73,042	72,896	73,534	0.8	0.8	0.7	44,957	44,168	41,325	22.8	22.4	21.0
平均	106,354	108,232	110,913	1.2	1.1	1.1	72,122	72,045	70,896	30.2	30.2	29.7

■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

施設群としての再編の方向性

現状分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>合併前の施設をそのまま維持しているが、施設数や配置は概ね適正である</li> <li>施設性能は概ね高い傾向にある</li> </ul>
基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>旧行政区域ごとに1箇所設置する</li> </ul>
再編検討の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>更新年到達時における既存施設への機能移転等を検討しつつ、図書館機能の継続を基本とする</li> <li>指定管理者制度の導入については、過去の検討経緯を踏まえ、再検討を要する</li> </ul>

施設ごとの方向性

施設名	方向性(第1期)	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
岩見沢市立図書館	維持	指定管理者制度の導入検討		方向性の検討	
	継続使用				
北村学習交流館	維持	指定管理者制度の導入検討		方向性の検討	
	継続使用				
岩見沢市来夢21	維持	指定管理者制度の導入検討	改修		
	改修				

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議		
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却

## 文化財等

### ■ 施設の概要

設置目的	岩見沢市絵画ホール 岩見沢市における美術の振興を図るため 旧國兼家住宅 市民文化の向上に資するため		
施設総数	2 施設	総延床面積	809 m <sup>2</sup>
対象圏域	市域		
関連計画	-		

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
岩見沢市絵画ホール	637.74	1932	-	86	-	3,359	4.3	
旧國兼家住宅	171.40	1917	-	101	-	10,851	1.4	
合計	809.14	平均		94	-	7,105	2.9	

#### 詳細情報

施設名	利用者数[人]			1m <sup>2</sup> あたりの利用者数[人]		
	H25	H26	H27	H25	H26	H27
岩見沢市絵画ホール	2,061	1,657	2,747	3.2	2.6	4.3
旧國兼家住宅	341	275	248	2.0	1.6	1.4
平均	1,201	966	1,498	2.6	2.1	2.9

### ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

#### 施設群としての再編の方向性

現状分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化状況の実態が不明確である</li> <li>・維持管理経費及び利用需要の費用対効果について検討が必要である</li> <li>・絵画ホールは、ソフト面の改善方策により、利用者が増加傾向にある</li> </ul>
基本的な考え方	・文化的価値から、維持・保存を基本とする
再編検討の方向性	・絵画ホールは、施設の老朽化の進行に伴う美術館機能の再編の検討を要する

#### 施設ごとの方向性

施設名	方向性 (第1期)	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
岩見沢市絵画ホール	維持				
	継続使用	大規模改修の必要性・実施時期の検討			
旧國兼家住宅	維持				
	継続使用	大規模改修の必要性・実施時期の検討			

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡 転用 除却

## 社会教育施設（その他）

### ■ 施設の概要

設置目的	岩見沢市生涯学習センター 生涯学習の振興を図り、もって個性豊かで活力に満ちた地域づくりに寄与するため 郷土科学館 教育、科学及び文化の発展に寄与するため 栗沢工芸館 工芸品の創作活動を通じ、市民の生活文化の向上を図るため		
施設総数	3 施設	総延床面積	10,805 m <sup>2</sup>
対象圏域	市域		
関連計画	-		

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
岩見沢市生涯学習センター	7,859.18	2013	-	5	100	8,380	17.1	
郷土科学館	2,697.74	1992	-	26	67	9,413	1.2	
栗沢工芸館	248.10	2001	-	17	80	9,513	2.0	
合計	10,805.02	平均		16	82	9,102	6.8	

#### 詳細情報

施設名	利用者数[人]			1m <sup>2</sup> あたりの利用者数[人]		
	H25	H26	H27	H25	H26	H27
岩見沢市生涯学習センター	105,276	122,633	134,407	13.4	15.6	17.1
郷土科学館	4,840	4,694	3,349	1.8	1.7	1.2
栗沢工芸館	460	722	485	1.9	2.9	2.0
平均	36,859	42,683	46,080	5.7	6.8	6.8

### ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

#### 施設群としての再編の方向性

現状分析	・郷土科学館、栗沢工芸館について、利用者数が極めて減少している
基本的な考え方	・必要と認められるものに限り、市域単位で設置する
再編検討の方向性	・岩見沢生涯学習センターは、長寿命化改修を前提に、維持を基本とする ・郷土科学館は、郷土資料展示の中心的機能としての役割の検討を要する ・栗沢工芸館は、更新年到達時における機能移転・除却を検討する

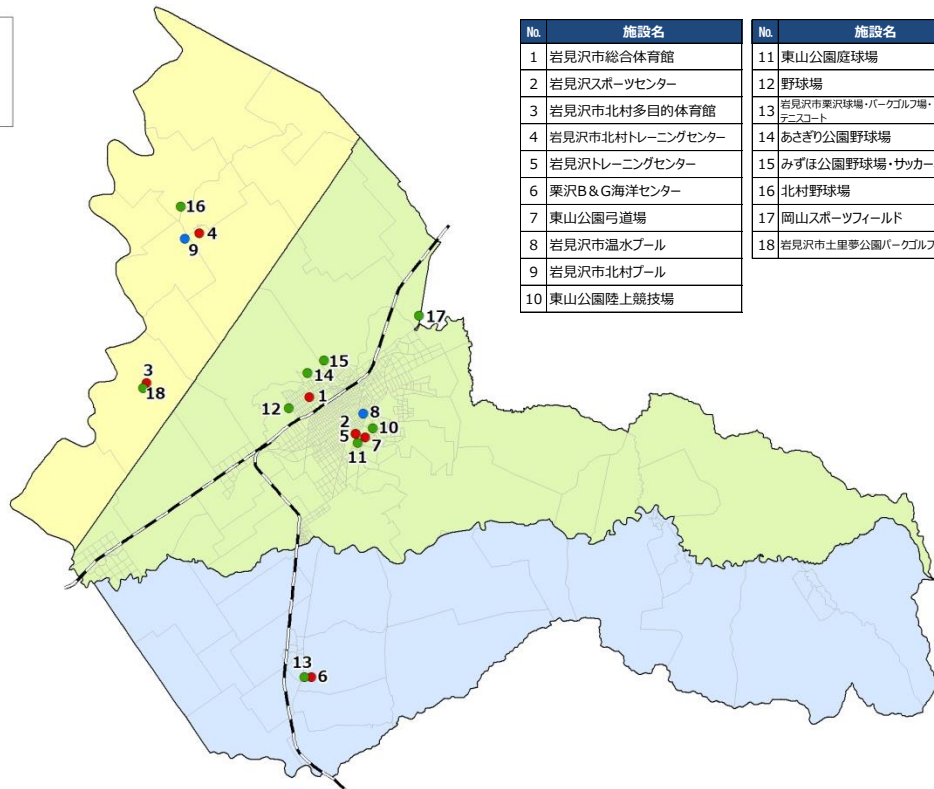
#### 施設ごとの方向性

施設名	方向性（第1期）	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
岩見沢市生涯学習センター	維持				方向性の検討
	継続使用				
郷土科学館	維持				
	改修		改修		
栗沢工芸館	維持				方向性の検討
	継続使用				

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡 転用 除却

## ④ 体育施設

体育施設	
●	体育施設(屋内)
●	プール
●	体育施設(屋外)



## 体育施設（屋内）

### ■ 施設の概要

設置目的	<p><u>岩見沢市総合体育館</u> 市民のスポーツ振興と体力増進を図るため</p> <p><u>岩見沢スポーツセンター</u> 青少年の健全育成と社会文化の振興を図るため</p> <p><u>岩見沢市北村多目的体育館</u> 地域における住民の健康の維持増進及び憩いの場を提供するため</p> <p><u>岩見沢市北村トレーニングセンター</u> 市民の余暇の活用、体力増進及び健康維持管理を推進するため</p> <p><u>岩見沢トレーニングセンター</u> 市民の基礎体力の向上と健康促進を図るため</p> <p><u>栗沢B&amp;G海洋センター</u> 市民の心身の健全な発達及び体育の普及と振興を図るため</p> <p><u>東山公園弓道場</u> スポーツ活動を通じて市民の健康と生きがいづくりを推進するため</p>		
施設総数	7 施設	総延床面積	15,209 m <sup>2</sup>
対象圏域	広域～旧行政区域		
関連計画	-		



## ■ 施設一覧

### 基本情報

施設名	延床面積 [㎡]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/㎡)	利用 (人/㎡)	
岩見沢市総合体育館	4,242.77	1987	-	31	40	6,119	14.7	
岩見沢スポーツセンター	3,040.93	1968	-	50	20	12,167	16.4	
岩見沢市北村多目的体育館	3,440.61	1997	-	21	30	3,951	6.0	
岩見沢市北村トレーニングセンター	1,685.36	1984	-	34	40	6,158	8.4	
岩見沢トレーニングセンター	595.60	1981	-	37	20	12,706	74.7	
栗沢B&G海洋センター	1,904.61	1993	2017	1	-	5,870	10.1	プール併設
東山公園弓道場	299.28	1985	-	33	20	12,079	31.8	
合計	15,209.16		平均	30	28	8,436	23.2	

### 詳細情報

施設名	利用者数[人]			1㎡あたりの利用者数[人]		
	H25	H26	H27	H25	H26	H27
岩見沢市総合体育館	62,012	66,011	62,315	14.6	15.6	14.7
岩見沢スポーツセンター	47,015	44,669	49,747	15.5	14.7	16.4
岩見沢市北村多目的体育館	20,318	20,782	20,651	5.9	6.0	6.0
岩見沢市北村トレーニングセンター	12,253	13,210	14,097	7.3	7.8	8.4
岩見沢トレーニングセンター	33,864	37,606	44,497	56.9	63.1	74.7
栗沢B&G海洋センター	31,857	31,051	31,521	10.3	10.0	10.1
東山公園弓道場	10,161	10,358	9,514	34.0	34.6	31.8
平均	31,069	31,955	33,192	20.6	21.7	23.2

## ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

### 施設群としての再編の方向性

現状分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体として施設の老朽化が進行している</li> <li>単位面積あたりの利用者数に大きな差異が見られる</li> <li>同種、同機能の施設が重複している</li> </ul>
基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域バランスを考慮して数箇所設置する</li> </ul>
再編検討の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>同機能の施設が重複していることから、施設の老朽化や利用実態と今後の利用動向を踏まえた再編検討を要する</li> <li>設置目的及び施設の機能の差異を踏まえつつ、屋内体育施設全体で複合・集約化を検討する</li> </ul>

### 施設ごとの方向性

施設名	方向性（第1期）	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
岩見沢市総合体育館	維持	利活用促進方策の検討	改修		
	改修				
岩見沢スポーツセンター	維持		方向性の検討	具体的再編の実施	
	継続使用				
岩見沢市北村多目的体育館	維持				方向性の検討
	継続使用				
岩見沢市北村トレーニングセンター	維持			方向性の検討	
	継続使用				
岩見沢トレーニングセンター	維持		方向性の検討	具体的再編の実施	
	継続使用				
栗沢B&G海洋センター	維持	H29大規模改修実施			
	継続使用				
東山公園弓道場	維持				
	継続使用				

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議		
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却

## プール

### ■ 施設の概要

設置目的	岩見沢市温水プール スポーツ活動を通じて市民の健康と生きがいづくりを推進するため 岩見沢市北村プール 市民の余暇の活用、体力増進及び心身の健全な発達を図るため 栗沢B&G海洋センター 市民の心身の健全な発達及び体育の普及と振興を図るため		
施設総数	3 施設	総延床面積	3,928 m <sup>2</sup>
対象圏域	市域		
関連計画	-		

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
岩見沢市温水プール	1,639.08	1996	-	22	50	18,888	35.4	
岩見沢市北村プール	1,086.37	1998	-	20	50	6,297	5.7	
栗沢B&G海洋センター	1,202.63	1993	-	25	20	5,870	10.1	プール部分
合計	3,928.08	平均		22	40	10,352	17.1	

#### 詳細情報

施設名	利用者数[人]			1m <sup>2</sup> あたりの利用者数[人]		
	H25	H26	H27	H25	H26	H27
岩見沢市温水プール	57,956	56,812	58,057	35.4	34.7	35.4
岩見沢市北村プール	4,880	6,293	6,167	4.5	5.8	5.7
栗沢B&G海洋センター	31,857	31,051	31,521	10.3	10.0	10.1
平均	31,564	31,385	31,915	16.7	16.8	17.1

### ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

#### 施設群としての再編の方向性

現状分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に施設の老朽化が進行している</li> <li>・利用需要は横ばいである</li> </ul>
基本的な考え方	・旧行政区域ごとに1箇所設置する
再編検討の方向性	・旧行政区域に1箇所配置の現状を当面維持とするが、今後の利用動向や学校施設付属のプールと併せた再編の検討を要する

#### 施設ごとの方向性

施設名	方向性 (第1期)	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
岩見沢市温水プール	維持			方向性の検討	
	継続使用				
岩見沢市北村プール	維持	利活用促進方策の検討		方向性の検討	
	継続使用				
栗沢B&G海洋センター	維持			方向性の検討	
	継続使用				

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議		
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却

## 体育施設（屋外）

### ■ 施設の概要

設置目的	東山公園陸上競技場、野球場、あさぎり公園野球場、北村野球場 スポーツ活動を通じて市民の健康と生きがいづくりを推進するため 岩見沢市栗沢球場・パークゴルフ場・テニスコート 市民の心身の健全な発達及び体育の普及と振興を図るため 東山公園庭球場、みずほ公園野球場・サッカー場、岡山スポーツフィールド 市民の基礎体力の向上と健康促進を図るため 岩見沢市土里夢公園パークゴルフ場 この地域における住民の健康の維持増進及び憩いの場を提供するため	
施設総数	9 施設	総延床面積 3,310 m <sup>2</sup>
対象圏域	市域～旧行政区域	
関連計画	-	

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (千円)	利用 (人)	
東山公園陸上競技場	717.02	2005	-	13	80	11,327	26,906	
東山公園庭球場	93.15	1992	-	26	25	11,433	14,450	
野球場	1,907.32	1999	-	19	25	9,482	28,204	
岩見沢市栗沢球場・パークゴルフ場・テニスコート	320.32	1992	-	26	25	9,593	20,917	
あさぎり公園野球場	64.40	1978	-	40	10	1,747	4,485	
みずほ公園野球場・サッカー場	59.62	2014	-	4	100	3,394	7,263	
北村野球場	26.68	1983	-	35	25	559	1,314	
岡山スポーツフィールド	82.14	1996	-	22	20	7,737	10,751	
岩見沢市土里夢公園パークゴルフ場	39.75	2000	-	18	30	4,928	29,813	
合計	3,310.40		平均	23	38	6,689	16,011	

#### 詳細情報

施設名	利用者数[人]			1m <sup>2</sup> あたりの利用者数[人]		
	H25	H26	H27	H25	H26	H27
東山公園陸上競技場	26,725	26,657	26,906	37.3	37.2	37.5
東山公園庭球場	16,917	14,776	14,450	181.6	158.6	155.1
野球場	21,322	26,256	28,204	11.2	13.8	14.8
岩見沢市栗沢球場・パークゴルフ場・テニスコート	23,800	21,505	20,917	74.3	67.1	65.3
あさぎり公園野球場	4,317	6,954	4,485	67.0	108.0	69.6
みずほ公園野球場・サッカー場	8,236	8,166	7,263	138.1	137.0	121.8
北村野球場	1,578	900	1,314	59.1	33.7	49.3
岡山スポーツフィールド	11,988	13,383	10,751	145.9	162.9	130.9
岩見沢市土里夢公園パークゴルフ場	31,919	26,009	29,813	803.0	654.3	750.0
平均	16,311	16,067	16,011	168.6	152.5	154.9

施設名	諸元
東山公園陸上競技場	トラック競技：全般 フィールド競技：走り幅跳び、走り高跳び、三段跳び、棒高跳び、槍投げ、円盤投げ、砲丸投げ、ハンマー投げ、サッカー
東山公園庭球場	クレートコート6面、砂入人工芝、オムニコート2面
野球場	センター 122メートル、両翼 98メートル、ナイター照明 6基、収容人数 7,500人
岩見沢市栗沢球場・パークゴルフ場・テニスコート	野球場：センター120メートル、両翼97メートル、ナイター照明6基、収容人数6200人 パークゴルフ場：18ホール、コース距離817メートル テニスコート：砂入人工芝、オムニコート4面
あさぎり公園野球場	センター 100メートル、両翼 85メートル
みずほ公園野球場・サッカー場	野球場：センター 110メートル、両翼 95メートル サッカー場：サッカーコート1面
北村野球場	センター100メートル、両翼85メートル
岡山スポーツフィールド	テニスコート：砂入人工芝、オムニコート4面 多目的広場：サッカーコート2面可
岩見沢市土里夢公園パークゴルフ場	54ホール、コース距離2,547メートル

## ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

### 施設群としての再編の方向性

現状分析	・人口減少の中、利用者数は横ばいであることから、体育施設に対する需要は高いものと推察される
基本的な考え方	・需要に基づき、競技の種類ごとに市域～旧行政区域単位で1～数箇所設置する
再編検討の方向性	・同機能の施設が重複していることから、施設の老朽化や利用実態と今後の利用動向を踏まえた再編検討を要する ・人口減少や少子高齢化による総需要の減少は確実であることから、総数削減は必須である ・維持方針の施設については、速やかな改修計画の策定を要する ・維持管理経費及び利用需要の推移を見極めながら段階的な廃止の検討を要する ・受益者負担のあり方について検討を要する

### 施設ごとの方向性

施設名	方向性	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
東山公園陸上競技場	維持				
	継続使用				
東山公園庭球場	維持				
	継続使用				
野球場	維持				
	継続使用				
岩見沢市栗沢球場・パークゴルフ場・テニスコート	維持				
	継続使用				
あさぎり公園野球場	維持				
	継続使用				
みずほ公園野球場・サッカー場	維持				
	継続使用				
北村野球場	維持			方向性の検討	
	継続使用				
岡山スポーツフィールド	維持				
	継続使用				
岩見沢市土里夢公園パークゴルフ場	維持				
	継続使用				

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議		
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却

## ⑤産業振興施設

### 産業振興施設（商工業）

#### ■施設の概要

設置目的	公設道央地方卸売市場 市民の消費生活の安定に寄与するため 鉄北地域振興センター 鉄北地域の振興及び活性化を図るため 岩見沢市職業訓練センター 技能者の養成と技術の向上を図るため 岩見沢市テレワークセンター 情報通信技術を活用した新たな事業の創出と地域産業の育成振興を支援し、もって市民生活の質の向上と地域の活性化を図るため 岩見沢市新産業支援センター 新産業の創出及び地場産業の活性化を図り、もって地域経済の発展に資するため 岩見沢市ワークプラザ 活力ある地域社会を形成するため		
施設総数	6 施設	総延床面積	12,792 m <sup>2</sup>
対象圏域	広域～地域		
関連計画	-		

#### ■施設一覧

##### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
公設道央地方卸売市場	8,050.47	1971	-	47	20	480	-	
鉄北地域振興センター	829.74	1975	-	43	70	-5,546	-	北2条団地と複合
岩見沢市職業訓練センター	1,207.50	1980	-	38	20	35	-	
岩見沢市テレワークセンター	803.96	1999	-	19	50	6,206	0.4	
岩見沢市新産業支援センター	1,594.79	2004	-	14	67	16,127	2.1	
岩見沢市ワークプラザ	305.90	2008	-	10	100	6,383	20.4	高層アパートと複合
合計	12,792.36		平均	29	54	3,948	7.7	

##### 詳細情報

施設名	売上高[百万円]		
	H25	H26	H27
公設道央地方卸売市場	2,795	2,815	2,695
施設名	入居率		
	H25	H26	H27
鉄北地域振興センター	32%	70%	70%
施設名	訓練生数[人]		
	H25	H26	H27
岩見沢市職業訓練センター	42	49	55

施設名	利用者数[人]			1㎡あたりの利用者数[人]		
	H25	H26	H27	H25	H26	H27
岩見沢市テレワークセンター	157	296	300	0.2	0.4	0.4
岩見沢市新産業支援センター	653	317	3,425	0.4	0.2	2.1
岩見沢市ワークプラザ	3,132	3,917	6,251	10.2	12.8	20.4
平均	1,314	1,510	3,325	3.6	4.5	7.7

## ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

### 施設群としての再編の方向性

現状分析	・築年数が古い施設が多い
基本的な考え方	・需要に基づき、広域から地域単位で設置する
再編検討の方向性	・今後の必要性を検討し、利用状況の悪い施設、老朽化の著しい施設を中心に、廃止を進める ・市場の建物は旧耐震基準であり、機能維持には健全経営と適正規模による再編の検討を要する

### 施設ごとの方向性

施設名	方向性（第1期）	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
公設道央地方卸売市場	維持			方向性の検討	
	継続使用				
鉄北地域振興センター	廃止	廃止			
	除却	除却			
岩見沢市職業訓練センター	維持			方向性の検討	
	継続使用				
岩見沢市テレワークセンター	維持	利活用促進方策の検討		方向性の検討	
	継続使用				
岩見沢市新産業支援センター	維持			方向性の検討	
	継続使用				
岩見沢市ワークプラザ	維持				
	継続使用				

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議		
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却

## 産業振興施設（観光）

### ■ 施設の概要

設置目的	メーブルロッジ、毛陽コロシウム、ふるさと毛陽観光果樹園、ふるさと毛陽サービスハット 利用者が自然と親しみながら交流を図り、地域の活性化と利用者の生活の質の向上に資するため いわみざわ北村温泉 利用者が自然と親しみながら健康の維持増進と交流を図り、地域の活性化と利用者の生活の質の向上に資するため 赤川鉱山管理事務所 北村地域内で噴出する可燃性ガスを有効に利用することにより環境にやさしいまちづくりを推進するため		
施設総数	7 施設	総延床面積	7,890 m <sup>2</sup>
対象圏域	広域		
関連計画	-		

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
メーブルロッジ	2,109.60	1994	2017	1	-	24,702	26.4	
毛陽コロシウム	1,767.17	1994	2017	1	-	-	2.2	
ふるさと毛陽観光果樹園	202.05	1997	-	21	20	-	4.9	
ふるさと毛陽サービスハット	228.55	1997	-	21	20	-	-	
いわみざわ北村温泉	3,324.09	1987	-	31	58	2,268	55.3	
いわみざわ北村温泉（倉庫）	10.60	2006	-	12	-	-	-	
赤川鉱山管理事務所	247.60	1988	-	30	20	88,949	-	
合計	7,889.66		平均	17	30	38,640	22.2	

#### 詳細情報

施設名	利用者数[人]			1m <sup>2</sup> あたりの利用者数[人]		
	H25	H26	H27	H25	H26	H27
メーブルロッジ	49,713	53,064	55,686	23.6	25.2	26.4
毛陽コロシウム	4,612	4,416	3,902	2.6	2.5	2.2
ふるさと毛陽観光果樹園	841	1,002	980	4.2	5.0	4.9
ふるさと毛陽サービスハット	-	-	-	-	-	-
いわみざわ北村温泉	188,724	177,179	183,867	56.8	53.3	55.3
いわみざわ北村温泉（倉庫）	-	-	-	-	-	-
赤川鉱山管理事務所	-	-	-	-	-	-
平均	60,973	58,915	61,109	21.8	21.5	22.2



## ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

### 施設群としての再編の方向性

現状分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に施設性能が低い傾向にある</li> <li>・利用需要の著しく低い施設が見られる</li> </ul>
基本的な考え方	・観光の拠点施設として2分類（メープルロッジ系、北村温泉系）の施設を維持する
再編検討の方向性	・観光戦略の中で利活用の促進方策や最適な配置を検討する

### 施設ごとの方向性

施設名	方向性（第1期）	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
メープルロッジ	維持				
	継続使用	H29大規模改修実施			
毛陽コロシム	維持	利活用促進方策の検討			
	継続使用	H29大規模改修実施			
ふるさと毛陽観光果樹園	維持	利活用促進方策の検討			
	継続使用				
ふるさと毛陽サービスハット	維持	利活用促進方策の検討			
	継続使用				
いわみざわ北村温泉	維持				
	改修	改修			
いわみざわ北村温泉（倉庫）	維持				
	継続使用				
赤川鉱山管理事務所	維持				
	継続使用				

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議			
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却	

## 産業振興施設（農政）

### ■ 施設の概要

設置目的	<p>北村農業技術拠点施設 農業技術の普及、情報の提供等を行い、もって地域農業の振興を図るため</p> <p>北村農業試験圃 農作物の試験、研究等の実施及び農業技術の普及を図るため</p> <p>北村農産加工研究センター 農産物の付加価値の向上、特産品の開発等、地域農業の振興及び都市と農村との交流促進を図るため</p> <p>いわみざわ就農サポートハウス 次世代の農業を担う農業後継者となる新規就農予定者等への宿泊施設を提供するため</p> <p>飲食店舗 地域の農産物等の流通促進及び地域資源の活用を図るため</p> <p>岩見沢市精米施設 地場産米の販売拡大及び加工処理能力の向上を図るため</p>		
施設総数	6 施設	総延床面積	3,854 m <sup>2</sup>
対象圏域	市域		
関連計画	岩見沢市農業振興ビジョン（平成29～33年度）		

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
北村農業技術拠点施設	430.61	1977	-	41	20	3,401	-	
北村農業試験圃	194.62	1990	-	28	50	12,623	-	
北村農産加工研究センター	418.60	1991	-	27	100	5,084	1.8	
いわみざわ就農サポートハウス	567.00	1973	-	45	75	2,924	-	
飲食店舗（道央栗沢工業団地）	38.88	1998	-	20	-	-	-	
岩見沢市精米施設	2,204.00	2014	-	4	100	-	-	
合計	3,853.71	平均		32	61	6,008	1.8	

#### 詳細情報

施設名	利用者数[人]			1m <sup>2</sup> あたりの利用者数[人]		
	H25	H26	H27	H25	H26	H27
北村農業技術拠点施設	-	-	-	-	-	-
北村農業試験圃	-	-	-	-	-	-
北村農産加工研究センター	897	838	740	2.1	2.0	1.8
いわみざわ就農サポートハウス	-	-	-	-	-	-
飲食店舗（道央栗沢工業団地）	-	-	-	-	-	-
岩見沢市精米施設	-	-	-	-	-	-
平均	897	838	740	2.1	2.0	1.8

## ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

### 施設群としての再編の方向性

現状分析	・全体的に施設の老朽化が進行している
基本的な考え方	・農業振興の考え方に基づき戦略的に設置する
再編検討の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更新年到達時に、廃止・除却を含めた検討を行う</li> <li>・いわみざわ就農サポートハウスは、機能維持を基本とする（民間代替の検討を要する）</li> <li>・道央栗沢工業団地飲食店舗及び岩見沢市精米施設は民間への譲渡を検討する</li> </ul>

### 施設ごとの方向性

施設名	方向性（第1期）	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
北村農業技術拠点施設	維持				方向性の検討
	継続使用				
北村農業試験圃	維持	3施設の機能移転や複合化など再編の検討が必要			方向性の検討
	継続使用				
北村農産加工研究センター	維持				方向性の検討
	継続使用				
いわみざわ就農サポートハウス	維持	民間代替の検討		方向性の検討	
	継続使用				
飲食店舗（道央栗沢工業団地）	維持			譲渡の検討	
	継続使用			方向性の検討	
岩見沢市精米施設	維持		譲渡の検討		方向性の検討
	継続使用				

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議		
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却

## 産業振興施設（ハロンズ岩見沢）

### ■ 施設の概要

設置目的	馬事の実践普及及び振興の用に供するため		
施設総数	2 施設	総延床面積	3,679 m <sup>2</sup>
対象圏域	広域		
関連計画	-		

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
ハロンズ岩見沢	3,669.18	1980	-	38	-	-3,176	40.9	
ハロンズ岩見沢駐車場料金所	10.12	1991	-	27	-	-	-	
合計	3,679.30		平均	33	-	-3,176	40.9	

#### 詳細情報

施設名	利用者数[人]			1m <sup>2</sup> あたりの利用者数[人]		
	H25	H26	H27	H25	H26	H27
ハロンズ岩見沢	87,637	122,957	149,963	23.9	33.5	40.9
ハロンズ岩見沢駐車場料金所	-	-	-	-	-	-
平均	87,637	122,957	149,963	23.9	33.5	40.9

### ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

#### 施設群としての再編の方向性

現状分析	・老朽化が進行し、今後の改修費・維持管理費の増加が懸念される
基本的な考え方	・行政としての必置性はなく、民間施設等への機能移転を検討する
再編検討の方向性	・民間施設を活用した運営主体による機能維持とする

#### 施設ごとの方向性

施設名	方向性（第1期）	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
		上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47
ハロンズ岩見沢	廃止		廃止	機能移転先の検討を要する	
	除却		除却		
ハロンズ岩見沢駐車場料金所	廃止		廃止	民間活用により機能を維持し、施設は除却	
	除却		除却		

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議		
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却

## ⑥職員住宅・宿舍

### 教員住宅

■ 施設の概要			
設置目的	教職員の安定的な居住先を確保するため		
施設総数	33 施設	総延床面積	4,575 m <sup>2</sup>
対象圏域	地域		
関連計画	岩見沢市立小・中学校の適正配置に関する基本計画（平成26～30年度）		

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	入居率 (%)	
岩見沢小学校教頭住宅	79.48	1980	-	38	0	0	0.0%	
中央小学校教頭住宅	85.91	1978	-	40	0	0	100.0%	
南小学校教頭住宅	85.91	1988	-	30	20	0	0.0%	
志文小学校校長・教頭住宅	171.82	1979	-	39	0	531	0.0%	
美園小学校教頭住宅	85.82	1993	-	25	20	0	100.0%	
日の出小学校校長住宅	80.47	1970	-	48	0	0	100.0%	
第一小学校校長住宅	85.91	1987	-	31	20	0	100.0%	
第二小学校校長住宅	85.82	1995	-	23	20	0	0.0%	
第二小学校教頭住宅	85.89	1992	-	26	20	0	100.0%	
第二小学校教員住宅	110.72	1979	-	39	0	0	0.0%	
北真小学校教頭住宅	81.14	1987	-	31	20	0	100.0%	
メーブル小学校校長住宅	126.28	1971	-	47	0	0	0.0%	
北村小学校教員住宅	159.57	1992	-	26	20	-977	100.0%	
栗沢小学校教員住宅（栗沢東本町）	242.38	1996	-	22	20	877	50.0%	
栗沢小学校教員住宅（栗沢南本町）	247.05	1993	-	25	20	-616	75.0%	
美流渡小学校教員住宅	158.76	1997	-	21	20	1,469	0.0%	
東光中学校校長住宅	84.00	1961	-	57	0	0	0.0%	
東光中学校教頭住宅	79.48	1980	-	38	0	0	0.0%	
光陵中学校教員住宅（鳩が丘4丁目）	340.96	1991	-	27	20	-2,678	100.0%	
光陵中学校教員住宅（春日町1丁目）	428.68	1977	-	41	0	912	71.4%	
緑中学校教員住宅	171.82	1976	-	42	10	1,731	0.0%	
上幌向中学校校長住宅	85.82	1994	-	24	20	0	100.0%	
上幌向中学校教頭住宅	85.91	1989	-	29	20	0	100.0%	
清園中学校校長住宅	85.91	1991	-	27	20	0	100.0%	
清園中学校教頭住宅	81.14	1983	-	35	20	0	0.0%	
明成中学校教員住宅	162.28	1984	-	34	20	0	0.0%	
北村中学校教員住宅	163.96	2002	-	16	20	255	100.0%	
美流渡中学校校長住宅	88.29	1993	-	25	20	0	100.0%	
緑陵高校教員住宅	88.60	1974	-	44	20	0	100.0%	
教員住宅（7条西2丁目）	110.72	1976	-	42	0	776	33.3%	
教員住宅（7条西9丁目）	110.72	1975	-	43	0	-879	50.0%	
教員住宅（東町2条7丁目）	161.61	1983	-	35	20	-1,025	50.0%	
教員住宅（幌向南1条1丁目）	272.33	1976	-	42	0	-227	75.0%	
合計	4,575.16		平均	34	12	5	54.7%	

詳細情報

施設名	入居率		
	H25	H26	H27
岩見沢小学校教頭住宅	100.0%	0.0%	0.0%
中央小学校教頭住宅	100.0%	100.0%	100.0%
南小学校教頭住宅	100.0%	0.0%	0.0%
志文小学校校長・教頭住宅	100.0%	100.0%	0.0%
美園小学校教頭住宅	100.0%	100.0%	100.0%
日の出小学校校長住宅	0.0%	100.0%	100.0%
第一小学校校長住宅	100.0%	100.0%	100.0%
第二小学校校長住宅	0.0%	0.0%	0.0%
第二小学校教頭住宅	100.0%	100.0%	100.0%
第二小学校教員住宅	0.0%	0.0%	0.0%
北真小学校教頭住宅	100.0%	100.0%	100.0%
メーブル小学校校長住宅	100.0%	100.0%	0.0%
北村小学校教員住宅	100.0%	100.0%	100.0%
栗沢小学校教員住宅（栗沢東本町）	100.0%	25.0%	50.0%
栗沢小学校教員住宅（栗沢南本町）	75.0%	75.0%	75.0%
美流渡小学校教員住宅	100.0%	50.0%	0.0%
東光中学校校長住宅	0.0%	0.0%	0.0%
東光中学校教頭住宅	100.0%	0.0%	0.0%
光陵中学校教員住宅（鳩が丘4丁目）	100.0%	100.0%	100.0%
光陵中学校教員住宅（春日町1丁目）	71.4%	57.1%	71.4%
緑中学校教員住宅	100.0%	50.0%	0.0%
上幌向中学校校長住宅	100.0%	100.0%	100.0%
上幌向中学校教頭住宅	100.0%	100.0%	100.0%
清園中学校校長住宅	100.0%	100.0%	100.0%
清園中学校教頭住宅	100.0%	0.0%	0.0%
明成中学校教員住宅	100.0%	0.0%	0.0%
北村中学校教員住宅	100.0%	100.0%	100.0%
美流渡中学校校長住宅	100.0%	100.0%	100.0%
緑陵高校教員住宅	100.0%	100.0%	100.0%
教員住宅（7条西2丁目）	100.0%	66.7%	33.3%
教員住宅（7条西9丁目）	50.0%	50.0%	50.0%
教員住宅（東町2条7丁目）	50.0%	50.0%	50.0%
教員住宅（幌向南1条1丁目）	50.0%	75.0%	75.0%
平均	81.7%	63.6%	54.7%

■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

施設群としての再編の方向性

現状分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に施設の老朽化が進行している</li> <li>・入居率の低い施設が一定数存在する</li> </ul>
基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化の進行により順次廃止を進め、民間活用による代替を検討する</li> </ul>
再編検討の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者退去時点での廃止・除却を検討する</li> <li>・施設の更新や大規模改修は行わない</li> </ul>

施設ごとの方向性

施設名	方向性 (第1期)	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期	
	上段：機能 下段：建物	H30-H34	H33-H37	H38-H47	H48-H57	
岩見沢小学校教頭住宅	廃止					
	除却					
中央小学校教頭住宅	廃止		廃止			
	除却		除却			
南小学校教頭住宅	廃止					
	除却					
志文小学校校長・教頭住宅	廃止					
	除却					
美園小学校教頭住宅	廃止					
	除却					
日の出小学校校長住宅	廃止					
	除却					
第一小学校校長住宅	廃止					
	除却					
第二小学校校長住宅	廃止					
	除却					
第二小学校教頭住宅	廃止					
	除却					
第二小学校教員住宅	廃止					
	除却					
北真小学校教頭住宅	廃止					
	除却					
メーブル小学校校長住宅	廃止	老朽化の進行により順次廃止	民間代替の検討			
	除却					
北村小学校教員住宅	廃止					
	除却					
栗沢小学校教員住宅 (栗沢東本町)	廃止					
	除却					
栗沢小学校教員住宅 (栗沢南本町)	廃止					
	除却					
美流渡小学校教員住宅	廃止	廃止				
	除却	除却				
東光中学校校長住宅	廃止					
	除却					
東光中学校教頭住宅	廃止					
	除却					
光陵中学校教員住宅 (鳩が丘4丁目)	廃止					
	除却					
光陵中学校教員住宅 (春日町1丁目)	廃止					
	除却					
緑中学校教員住宅	廃止					
	除却					
上幌向中学校校長住宅	廃止					
	除却					

施設名	方向性 (第1期)	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期	
	上段：機能 下段：建物	H30-H34	H33-H37	H38-H47	H48-H57	
上幌向中学校教頭住宅	廃止	-				
	除却					
清園中学校校長住宅	廃止					
	除却					
清園中学校教頭住宅	廃止					
	除却					
明成中学校教員住宅	廃止					
	除却					
北村中学校教員住宅	廃止					
	除却					
美流渡中学校校長住宅	廃止		廃止			
	除却		除却			
緑陵高校教員住宅	廃止		老朽化の進行により順次廃止		民間代替の検討	
	除却					
教員住宅 (7条西2丁目)	廃止					
	除却					
教員住宅 (7条西9丁目)	廃止	廃止				
	除却	除却				
教員住宅 (東町2条7丁目)	廃止					
	除却					
教員住宅 (幌向南1条1丁目)	廃止					
	除却					

【施設機能】 維持 移転・統合 廃止 協議  
 【建物本体】 継続使用 建替 改修 譲渡 転用 除却



## 市職員住宅

### ■ 施設の概要

設置目的	職員の住宅を確保するため		
施設総数	1 施設	総延床面積	333 m <sup>2</sup>
対象圏域	市域		
関連計画	-		

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	入居率 (%)	
職員住宅（栗沢東本町23）	333.10	1999	-	19	75	-1,430	100.0%	
合計	333.10	平均		19	75	-1,430	100.0%	

#### 詳細情報

施設名	入居率		
	H25	H26	H27
職員住宅（栗沢東本町23）	100.0%	100.0%	100.0%
平均	100.0%	100.0%	100.0%

### ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

#### 施設群としての再編の方向性

現状分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用料収入が維持管理経費を上回る</li> <li>・入居状況は良好である</li> <li>・採算性は確保されている</li> </ul>
基本的な考え方	・老朽化の進行により順次廃止を進め、民間活用による代替を検討する
再編検討の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者退去時点での廃止・除却を検討する</li> <li>・施設の更新や大規模改修は行わない</li> </ul>

#### 施設ごとの方向性

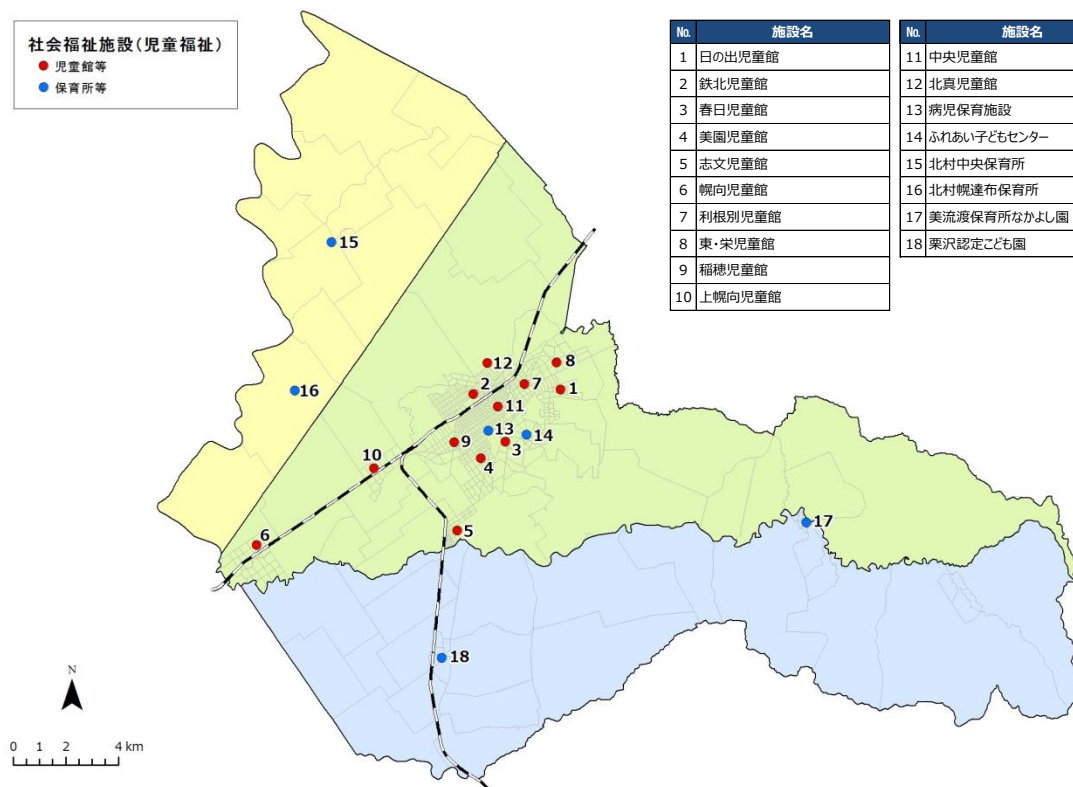
施設名	方向性（第1期）	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
		上段：機能 下段：建物	H30-H33	H33-H37	H38-H47
職員住宅（栗沢東本町23）	維持 継続使用	民間代替の検討		方向性の検討	

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡 転用 除却

## ⑦社会福祉施設（児童福祉）

社会福祉施設（児童福祉）  
 ● 児童館等  
 ● 保育所等

No.	施設名	No.	施設名
1	日の出児童館	11	中央児童館
2	鉄北児童館	12	北真児童館
3	春日児童館	13	病児保育施設
4	美園児童館	14	ふれあい子どもセンター
5	志文児童館	15	北村中央保育所
6	幌向児童館	16	北村幌達布保育所
7	利根別児童館	17	美流渡保育所なかよし園
8	東・栄児童館	18	栗沢認定こども園
9	稲穂児童館		
10	上幌向児童館		



## 児童館等

### ■ 施設の概要

設置目的	児童に健全な遊びを与え情操を豊かにすることを目的とする		
施設総数	13 施設	総延床面積	4,488 m <sup>2</sup>
対象圏域	地域		
関連計画	岩見沢市立小・中学校の適正配置に関する基本計画（平成26～30年度） 岩見沢市子ども・子育てプラン（平成27～31年度）		

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
日の出児童館	364.36	1974	2011	7	75	4,149	23.5	
鉄北児童館	362.70	1975	2013	5	100	4,569	55.1	
春日児童館	360.22	1976	2011	7	100	4,739	19.3	
美園児童館	419.57	1977	2017	1	13	13,931	41.4	
志文児童館	362.70	1978	2014	4	75	3,819	28.9	
幌向児童館	362.70	1979	2012	6	75	3,923	34.4	
利根別児童館	362.70	1981	-	37	50	6,240	20.8	
東・栄児童館	362.70	1982	-	36	50	4,565	35.9	
稲穂児童館	362.70	1982	-	36	50	6,040	30.1	H30建替実施、普通財産に分類
上幌向児童館	362.70	1983	-	35	50	4,536	20.0	
中央児童館	406.05	1986	-	32	75	4,852	23.2	
北真児童館	399.23	1994	-	24	75	7,801	19.8	
鉄北放課後児童クラブ室	-	2018	-	0	-	-	-	H30新設
合計	4,488.33		平均	18	66	5,763	29.4	

#### 詳細情報

施設名	利用者数[人]			登録児童数[人]			対象小学校	
	H25	H26	H27	H25	H26	H27	学校名	距離
日の出児童館	8,937	9,184	8,575	54	57	55	日の出小学校	1,466m
鉄北児童館	12,433	14,711	19,994	83	83	109	第一小学校	1,053m
春日児童館	6,439	7,457	6,951	26	27	26	南小学校	1,383m
美園児童館	18,193	19,215	17,377	83	87	83	美園小学校	423m
志文児童館	10,184	9,022	10,486	49	49	53	志文小学校	496m
幌向児童館	14,887	15,423	12,467	49	53	47	幌向小学校	1,031m
利根別児童館	7,085	7,401	7,536	41	41	39	岩見沢小学校	1,193m
東・栄児童館	10,077	12,515	13,038	51	71	68	東小学校	1,191m
稲穂児童館	11,644	11,820	10,928	51	52	49	中央小学校	1,473m
上幌向児童館	7,782	7,413	7,263	27	20	23	第二小学校	1,253m
中央児童館	9,135	9,549	9,417	42	49	49	岩見沢小学校・南小学校	704m・586m
北真児童館	6,649	5,967	7,903	26	32	41	北真小学校	65m
鉄北放課後児童クラブ室	-	-	-	-	-	-	第一小学校	1,053m
平均	10,287	10,806	10,995	48.5	51.8	53.5	-	

## ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

### 施設群としての再編の方向性

現状分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化の進行している12施設のうち、6施設は大規模改修、1施設は建替が完了しており、残りの施設も大半が大規模改修が必要な状態にある</li> <li>・利用需要について、施設間で大きな差異がみられる</li> </ul>
基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域（小学校区）を単位として原則1箇所設置する</li> </ul>
再編検討の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期的な児童数の減少は避けられないことから利用需要の推移に合わせた統廃合を要する</li> <li>・再編検討においては、小学校区に基づく設置を基本とする（大規模改修履歴の有無や建物供用可能期間は考慮せず）</li> <li>・一時的な児童数の増加に対応した増築は行わず、短期的な利用需要の増加には学校の余裕空間又は既存市有施設の活用にて対応する</li> </ul>

### 施設ごとの方向性

施設名	方向性（第1期）	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
日の出児童館	別計画				
鉄北児童館	別計画				
春日児童館	別計画				
美園児童館	別計画				
志文児童館	別計画				
幌向児童館	別計画				
利根別児童館	別計画	小・中学校の適正配置に関する基本計画を受けて、別途検討を要する			
東・栄児童館	別計画				
稲穂児童館	別計画	移転・統合 譲渡・除却			
上幌向児童館	別計画				
中央児童館	別計画				
北真児童館	別計画				
鉄北放課後児童クラブ室	別計画	H30新設			

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議			
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却	

## 保育所等

### ■ 施設の概要

設置目的	<b>病児保育施設</b> 保護者の子育てと就労の両立等を支援するとともに児童の健全な育成に寄与するため <b>ふれあい子どもセンター</b> 乳児又は幼児を保育するため <b>各保育所</b> へき地における保育を要する幼児の福祉の増進を図るため <b>栗沢認定こども園</b> 地域の特性及び交流を生かした教育及び保育の実践を通じて子どもの体験を拡げ、豊かな社会性及び人間性を育む環境を作るため		
施設総数	6 施設	総延床面積	2,938 m <sup>2</sup>
対象圏域	市域（病児保育施設・ふれあい子どもセンター・認定こども園）、地域（各保育所）		
関連計画	岩見沢市子ども・子育てプラン（平成27～31年度）		

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用率 (%)	
病児保育施設	71.41	2015	-	3	60	135,130	-	対象圏域：市域
ふれあい子どもセンター	836.45	1996	-	22	40	-11,284	75.6%	対象圏域：市域
北村中央保育所	626.22	1989	-	29	30	36,863	46.0%	対象圏域：地域
北村幌達布保育所	335.25	1996	-	22	50	22,559	26.0%	対象圏域：地域
美流渡保育所なかよし園	255.05	1976	-	42	0	6,036	30.0%	対象圏域：地域
栗沢認定こども園	813.15	2017	-	1	-	-	-	対象圏域：市域
合計	2,937.53	平均		20	36	37,861	44.4%	

#### 詳細情報

施設名	園児数[人]			1人当たりの延床面積[m <sup>2</sup> /人]			定員に対する割合		
	H25	H26	H27	H25	H26	H27	H25	H26	H27
病児保育施設	-	-	73	-	-	-	-	-	-
ふれあい子どもセンター	59	54	68	14	15	12	65.6%	60.0%	75.6%
北村中央保育所	44	53	46	14	12	14	44.0%	53.0%	46.0%
北村幌達布保育所	10	16	13	34	21	26	20.0%	32.0%	26.0%
美流渡保育所なかよし園	11	9	9	23	28	28	36.7%	30.0%	30.0%
栗沢認定こども園	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平均	31	33	42	21.3	19.1	20.0	41.6%	43.8%	44.4%

## ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

### 施設群としての再編の方向性

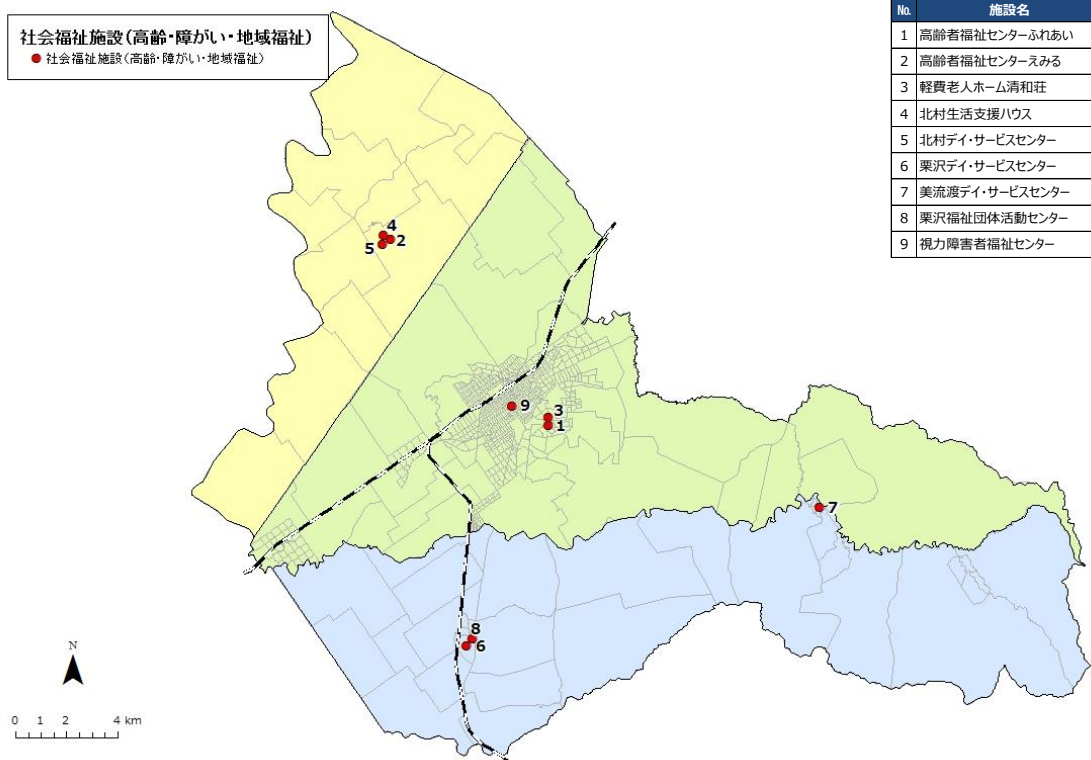
現状分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>園児数が定員の半分も満たさない施設が大半である</li> <li>全体的に施設性能が低い傾向にある</li> <li>通年で開園していない施設も存在する（従来の季節保育所としての機能）</li> </ul>
基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>需要に応じて、市域・地域単位に設置する</li> </ul>
再編検討の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市域対象：長寿命化を前提とした、維持方針とする</li> <li>地域対象：集団保育の観点より、2年連続で入所児童が6名を下回った場合廃止を基本原則とする</li> <li>統廃合を通じた総数削減と民間活用の可能性について、検討を要する</li> </ul>

### 施設ごとの方向性

施設名	方向性（第1期）	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
病児保育施設	維持				
	継続使用				
ふれあい子どもセンター	維持			方向性の検討	
	継続使用				
北村中央保育所	維持				
	継続使用		改修		
北村幌達布保育所	維持	入所児童数が2年連続6名以下となった段階で廃止・除却を検討			
	継続使用				
美流渡保育所なかよし園	維持	入所児童数が2年連続6名以下となった段階で廃止・除却を検討			
	継続使用				
栗沢認定こども園	維持				
	継続使用				

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議		
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却

## ⑧ 社会福祉施設（高齢・障がい・地域福祉）



## 高齢者福祉センター

### ■ 施設の概要

設置目的	高齢者の社会参加、生きがいづくり及び世代間交流を通じて、健康で明るい老後生活の形成に資するため		
施設総数	2 施設	総延床面積	2,668 m <sup>2</sup>
対象圏域	市域		
関連計画	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（平成30～32年度）		

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
高齢者福祉センターふれあい	1,397.40	1994	-	24	70	18,964	27.4	
高齢者福祉センターえみる	1,270.54	1999	-	19	60	9,270	1.0	北村生活支援ハウス、 北村デイ・サービスセンターと併設
合計	2,667.94	平均		22	65	14,117	14.2	

#### 詳細情報

施設名	利用者数[人]			1m <sup>2</sup> あたりの利用者数[人]		
	H25	H26	H27	H25	H26	H27
高齢者福祉センターふれあい	39,742	38,780	38,265	28.4	27.8	27.4
高齢者福祉センターえみる	1,409	1,375	1,211	1.1	1.1	1.0
平均	20,576	20,078	19,738	14.8	14.4	14.2

### ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

#### 施設群としての再編の方向性

現状分析	・市内に2施設あるが、利用需要に大きな差が見られる
基本的な考え方	・市域で1箇所程度設置する
再編検討の方向性	・利用需要の低い高齢者福祉センターえみるの将来的な廃止を検討する ・併設施設の方向性と併せた検討を要する

#### 施設ごとの方向性

施設名	方向性 (第1期)	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
高齢者福祉センターふれあい	維持				
	継続使用		改修		
高齢者福祉センターえみる	維持	併設施設と併せて検討		方向性の検討	
	継続使用				

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議		
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却



## 高齢者向け入所・入居施設

### ■ 施設の概要

設置目的	高齢者が安心して、健康で明るい生活を送れるよう支援し、もって高齢者の福祉の増進を図るため		
施設総数	2 施設	総延床面積	3,385 m <sup>2</sup>
対象圏域	広域		
関連計画	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（平成30～32年度）		

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
軽費老人ホーム清和荘	2,150.38	1987	-	31	60	-4,134	0.0116	
北村生活支援ハウス	1,234.90	2000	-	18	67	10,020	0.0154	北村デイサービスセンター、高齢者福祉センターえみりと併設
合計	3,385.28	平均		25	63	2,943	0.0135	

#### 詳細情報

施設名	利用者数[人]			1m <sup>2</sup> あたりの利用者数[人]		
	H25	H26	H27	H25	H26	H27
軽費老人ホーム清和荘	31	29	25	0.0144	0.0135	0.0116
北村生活支援ハウス	13	13	19	0.0105	0.0105	0.0154
平均	22	21	22	0.0125	0.0120	0.0135

### ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

#### 施設群としての再編の方向性

現状分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清和荘は、築31年で老朽化が進行しており、入居者も年々減少傾向している。施設を維持しようとする場合、大規模改修が必要となる</li> <li>・北村生活支援ハウスは、3施設（高齢者福祉センターえみり、北村デイサービスセンター）の併設施設であり、築18年を経過し、今後、改修等の維持管理費用の増加が懸念される</li> <li>・必置性の検討が必要である</li> </ul>
基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政としての必置性はなく、新・増設は行わない</li> </ul>
再編検討の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間事業者によるサービス提供の補完ができる施設であり、廃止を基本とする</li> <li>・併設施設の方向性と併せた検討を要する</li> <li>・廃止の際は、民間代替機能の確保を要する</li> </ul>

#### 施設ごとの方向性

施設名	方向性（第1期）	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
軽費老人ホーム清和荘	廃止	廃止			
	除却	除却			
北村生活支援ハウス	維持	併設施設と併せて検討		方向性の検討	
	継続使用				

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議		
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却

## デイサービスセンター

### ■ 施設の概要

設置目的	高齢者の自立的生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を図るとともに、その家族の身体的、精神的な負担の軽減を図るため		
施設総数	3 施設	総延床面積	2,702 m <sup>2</sup>
対象圏域	旧行政区域～地域		
関連計画	高齢者健康福祉計画・介護保険事業計画（平成30～32年度）		

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
北村デイ・サービスセンター	883.44	2000	-	18	40	-	4.8	高齢者福祉センターえみる、北村生活支援ハウスと併設
栗沢デイ・サービスセンター	1,613.79	1999	-	19	20	-	3.6	栗沢保健センターと複合、栗沢福祉団体活動センターと併設
美流渡デイ・サービスセンター	204.52	1976	1998	20	0	-	4.7	美流渡保育所なかよし園と複合
合計	2,701.75	平均		19	20	-	4.3	

#### 詳細情報

施設名	利用者数[人]			1m <sup>2</sup> あたりの利用者数[人]		
	H25	H26	H27	H25	H26	H27
北村デイ・サービスセンター	4,453	4,426	4,203	5.0	5.0	4.8
栗沢デイ・サービスセンター	5,643	5,964	5,747	3.5	3.7	3.6
美流渡デイ・サービスセンター	639	896	963	3.1	4.4	4.7
平均	3,578	3,762	3,638	3.9	4.4	4.3

### ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

#### 施設群としての再編の方向性

現状分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に施設の老朽化が進行し、施設性能も低い傾向にある</li> <li>・利用需要は横ばい又は増加傾向にある</li> </ul>
基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政としての必置性は低く、新・増設は行わない</li> </ul>
再編検討の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更新年到達時に廃止及び除却・譲渡等を含めた検討を行う</li> <li>・廃止の際は、指定管理者への譲渡又は民間代替機能の確保を要する</li> <li>・複合・併設施設の方向性と併せた検討を要する</li> </ul>

#### 施設ごとの方向性

施設名	方向性（第1期）	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
北村デイ・サービスセンター	維持	併設施設と併せて検討	民間代替の検討	方向性の検討	
	継続使用				
栗沢デイ・サービスセンター	維持	複合・併設施設と併せて検討	民間代替の検討	方向性の検討	
	継続使用				
美流渡デイ・サービスセンター	維持	複合施設と併せて検討	民間代替の検討	方向性の検討	
	継続使用				

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議		
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却

## 地域福祉施設

### ■ 施設の概要

設置目的	地域福祉活動の向上を図るため		
施設総数	1 施設	総延床面積	480 ㎡
対象圏域	旧行政区域		
関連計画	-		

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [㎡]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/㎡)	利用 (人/㎡)	
栗沢福祉団体活動センター	480.06	1975	-	43	75	7,770	5.2	栗沢保健センター、栗沢 デイ・サービスセンターと併 設
合計	480.06	平均		43	75	7,770	5.2	

#### 詳細情報

施設名	利用者数[人]			1㎡あたりの利用者数[人]		
	H25	H26	H27	H25	H26	H27
栗沢福祉団体活動センター	2,705	2,497	2,485	5.6	5.2	5.2
平均	2,705	2,497	2,485	5.6	5.2	5.2

### ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

#### 施設群としての再編の方向性

現状分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度に用途廃止し、栗沢市民センターの建替に伴う一時的倉庫として活用中である</li> <li>第1期中の除却を予定している</li> <li>施設機能は、用途廃止する栗沢保健センターへの移転を予定している</li> </ul>
基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政としての必置性はなく、新・増設は行わない</li> </ul>
再編検討の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>機能移転の上、除却とする</li> <li>機能移転後の複合施設の方向性と併せた検討を要する</li> </ul>

#### 施設ごとの方向性

施設名	方向性(第1期)	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
栗沢福祉団体活動センター	移転・統合 除却	移転・統合 除却			

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議		
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却

## 障がい福祉施設

### ■ 施設の概要

設置目的	視力障害者の文化教養の向上と福祉の増進を図るため		
施設総数	1 施設	総延床面積	310 m <sup>2</sup>
対象圏域	市域		
関連計画	岩見沢市障がい者福祉計画（平成27～32年度）		

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
視力障害者福祉センター	309.94	1989	-	29	40	5,688	4.3	
合計	309.94	平均		29	40	5,688	4.3	

#### 詳細情報

施設名	利用者数[人]			1m <sup>2</sup> あたりの利用者数[人]		
	H25	H26	H27	H25	H26	H27
視力障害者福祉センター	1,220	1,018	1,347	3.9	3.3	4.3
平均	1,220	1,018	1,347	3.9	3.3	4.3

### ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

#### 施設群としての再編の方向性

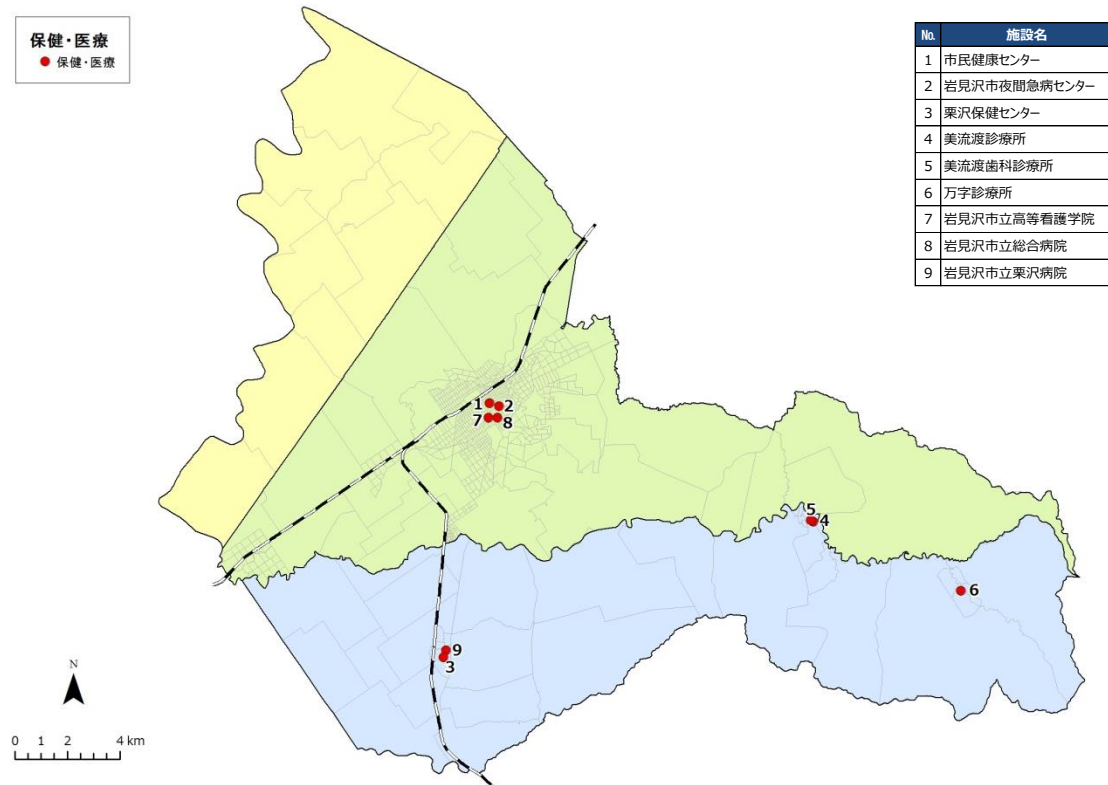
現状分析	・築29年を経過し、老朽化が進行している
基本的な考え方	・市域で1箇所設置する
再編検討の方向性	・長寿命化を前提とした、維持方針とする

#### 施設ごとの方向性

施設名	方向性（第1期）	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
		上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47
視力障害者福祉センター	維持				
	改修	改修			

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議		
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却

## ⑨保健・医療



No.	施設名
1	市民健康センター
2	岩見沢市夜間急病センター
3	栗沢保健センター
4	美流渡診療所
5	美流渡歯科診療所
6	万字診療所
7	岩見沢市立高等看護学院
8	岩見沢市立総合病院
9	岩見沢市立栗沢病院

## 保健センター等

### ■施設の概要

設置目的	市民健康センター 市民の健康保持及び増進を図るため 岩見沢市夜間急病センター 夜間における急病患者について応急的な診療を行うため 栗沢保健センター 総合的な保健サービスと市民の自主的な保健活動の場とするため		
施設総数	3 施設	総延床面積	2,553 m <sup>2</sup>
対象圏域	市域（一部広域）		
関連計画	-		

### ■施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
市民健康センター	1,666.17	1998	-	20	40	-99,405	7.9	
岩見沢市夜間急病センター	354.58	1984	-	34	30	0	11.0	医師会施設等と複合
栗沢保健センター	531.88	1986	-	32	40	5,094	2.2	栗沢サービスセンターと複合
合計	2,552.63		平均	29	37	-31,437	7.0	

詳細情報

施設名	利用者数[人]			1㎡あたりの利用者数[人]		
	H25	H26	H27	H25	H26	H27
市民健康センター	12,350	12,934	13,088	7.4	7.8	7.9
岩見沢市夜間急病センター	3,860	3,814	3,909	10.9	10.8	11.0
栗沢保健センター	583	893	1,153	1.1	1.7	2.2
平均	5,598	5,880	6,050	6.5	6.7	7.0

■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

施設群としての再編の方向性

現状分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に施設の老朽化が進行し、施設性能も低い傾向にある</li> <li>・行政が設置し、サービスを提供する必要があるか検討を要する</li> </ul>
基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新・増設は行わない</li> </ul>
再編検討の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機能維持を基本とし、更新年到達時に既存市有施設への機能移転を検討する（市民健康センターは市立総合病院の再編と併せた検討を要する）</li> <li>・栗沢保健センターは廃止し、他の用途に転用する（複合施設の方向性と併せた検討を要する）</li> </ul>

施設ごとの方向性

施設名	方向性（第1期）	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
市民健康センター	維持	市立総合病院と併せて検討			
	継続使用				
岩見沢市夜間急病センター	維持	複合施設と併せて検討			
	継続使用				
栗沢保健センター	廃止	廃止			
	転用	転用			

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議		
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却

## 診療所（美流渡・万字地区）

### ■ 施設の概要

設置目的	市民の健康保持に必要な診療を提供するため		
施設総数	3 施設	総延床面積	704 m <sup>2</sup>
対象圏域	地域		
関連計画	-		

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
美流渡診療所	402.23	1980	-	38	80	720	11.1	民間貸付施設
美流渡歯科診療所	243.00	1993	-	25	100	711	10.8	
万字診療所	58.66	1985	-	33	25	1,232	4.9	万字交通センターと複合
合計	703.89	平均		32	68	888	8.9	

#### 詳細情報

施設名	利用者数[人]			1m <sup>2</sup> あたりの利用者数[人]		
	H25	H26	H27	H25	H26	H27
美流渡診療所	4,807	4,656	4,471	12.0	11.6	11.1
美流渡歯科診療所	3,343	2,927	2,617	13.8	12.0	10.8
万字診療所	382	346	285	6.5	5.9	4.9
平均	2,844	2,643	2,458	10.7	9.8	8.9

### ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

#### 施設群としての再編の方向性

現状分析	・全体的に施設の老朽化が進行している
基本的な考え方	・現状配置とし、新・増設は行わない
再編検討の方向性	・美流渡診療所は、地域における医療機能の再編と併せた検討を要する ・他の施設は、利用需要を踏まえた再編の検討を要する

#### 施設ごとの方向性

施設名	方向性（第1期）	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
美流渡診療所	維持			方向性の検討	
	継続使用				
美流渡歯科診療所	維持			方向性の検討	
	継続使用				
万字診療所	維持			方向性の検討	
	継続使用				

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議		
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却

## 高等看護学院

### ■ 施設の概要

設置目的	看護師として必要な専門的知識及び技能を習得させるとともに豊かな人間性を養い、地域社会の医療の発展に寄与するため		
施設総数	1 施設	総延床面積	2,747 m <sup>2</sup>
対象圏域	広域		
関連計画	-		

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
岩見沢市立高等看護学院	2,747.13	1999	-	19	80	-1,404	-	
合計	2,747.13	平均		19	80	-1,404	-	

#### 詳細情報

施設名	生徒数[人]			1人当たりの延床面積[m <sup>2</sup> /人]		
	H25	H26	H27	H25	H26	H27
岩見沢市立高等看護学院	119	118	119	23.1	23.3	23.1
平均	119	118	119	23.1	23.3	23.1

### ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

#### 施設群としての再編の方向性

現状分析	・定員充足率は、ほぼ100%で推移している
基本的な考え方	・現行配置を維持する
再編検討の方向性	・長寿命化を前提とした、維持方針とする

#### 施設ごとの方向性

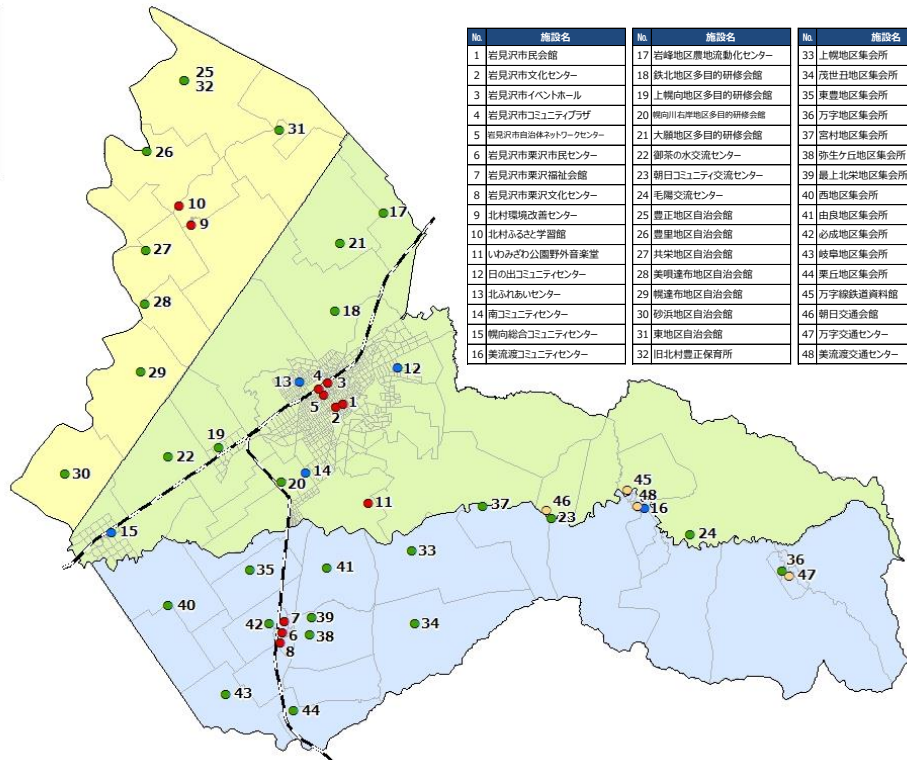
施設名	方向性 (第1期)	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
		上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47
岩見沢市立高等看護学院	維持 継続使用			方向性の検討	

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議		
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却



# ⑩集会施設・ホール等

- 集会施設・ホール等
- 広域～旧行政区域
  - 地域
  - 旧岩見沢地区
  - 旧北村地区
  - 旧栗沢地区
  - 特定地方交通線



No.	施設名	No.	施設名	No.	施設名
1	岩見沢市民会館	17	岩峰地区農地流動化センター	33	上幌地区集会所
2	岩見沢市文化センター	18	鉄北地区多目的研修会館	34	茂世旦地区集会所
3	岩見沢市イベントホール	19	上幌向地区多目的研修会館	35	東豊地区集会所
4	岩見沢市コミュニティプラザ	20	阿部川沿岸地区多目的研修会館	36	万字地区集会所
5	岩見沢市自治体ネットワークセンター	21	大勝地区多目的研修会館	37	宮村地区集会所
6	岩見沢市栗沢市民センター	22	御茶の水交流センター	38	弥生ヶ丘地区集会所
7	岩見沢市栗沢福祉会館	23	朝日コミュニティ交流センター	39	最上北栄地区集会所
8	岩見沢市栗沢文化センター	24	毛陽交流センター	40	西地区集会所
9	北村環境改善センター	25	豊正地区自治会館	41	由良地区集会所
10	北村ふるさと学習館	26	豊里地区自治会館	42	必成地区集会所
11	いひみざわ公園野外音楽堂	27	共栄地区自治会館	43	狭島地区集会所
12	日の出コミュニティセンター	28	美明達布地区自治会館	44	栗丘地区集会所
13	北ふれあいセンター	29	樺達布地区自治会館	45	万字線鉄道資料館
14	南コミュニティセンター	30	砂浜地区自治会館	46	朝日交通会館
15	樺向総合コミュニティセンター	31	東地区自治会館	47	万字交通センター
16	美流源コミュニティセンター	32	旧北村豊正保育園	48	美流源交通センター

## 文化・交流・集会施設（広域～旧行政区域）

### ■ 施設の概要

設置目的	<p>岩見沢市民会館 市民の文化教養の向上及び市民福祉の増進を図るため</p> <p>岩見沢文化センター 市民文化の向上及び教育の振興を図るため</p> <p>岩見沢イベントホール 中心市街地の活性化及び商業振興を図るため</p> <p>岩見沢市コミュニティプラザ コミュニティの形成を促進し、若者の定住と地域社会の活性化を図るため</p> <p>岩見沢市自治体ネットワークセンター 高度情報通信社会に対応した地域情報化を推進し、情報化による市民生活の質の向上と地域の活性化を図るため</p> <p>岩見沢市栗沢市民センター 市民の生活及び文化の向上に寄与するため</p> <p>岩見沢市栗沢福祉会館 市民の福祉増進に寄与するため</p> <p>岩見沢市栗沢文化センター 市民の生涯学習を推進し、生活文化の向上を図るため</p> <p>北村環境改善センター 市民の文化の高揚とコミュニティ活動の推進及び福祉と健康の増進を図るため</p> <p>北村ふるさと学習館 市民の社会教育活動及び地域文化の振興を図るため</p> <p>いわみざわ公園野外音楽堂 市民が芸術・文化を享受する地域文化の推進を図るため</p>		
施設総数	11 施設	総延床面積	29,260 ㎡
対象圏域	広域～旧行政区域		
関連計画	-		

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [㎡]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/㎡)	利用 (人/㎡)	
岩見沢市民会館	7,486.23	2003	-	15	83	12,064	11.9	岩見沢市文化センターと複合
岩見沢市文化センター	3,745.12	1983	-	35	83	568	24.7	岩見沢市民会館と複合
岩見沢市イベントホール	3,257.80	2002	-	16	40	4,275	-	
岩見沢市コミュニティプラザ	4,467.29	1994	-	24	42	11,604	5.3	岩見沢市自治体ネットワークセンターと複合
岩見沢市自治体ネットワークセンター	2,792.59	1997	-	21	83	16,844	6.0	岩見沢市コミュニティプラザと複合
岩見沢市栗沢市民センター	1,741.89	1982	-	36	40	11,724	9.1	栗沢福祉会館と併設
岩見沢市栗沢福祉会館	518.49	1987	-	31	40	16,726	8.1	栗沢市民センターと併設
岩見沢市栗沢文化センター	2,123.00	1970	-	48	40	7,644	10.0	
北村環境改善センター	1,621.89	1984	-	34	50	8,445	7.0	
北村ふるさと学習館	533.73	1973	-	45	38	1,100	6.1	
いわみざわ公園野外音楽堂	971.82	2000	-	18	60	20,030	35.7	
合計	29,259.85		平均	29	54	10,093	12.4	

詳細情報

施設名	利用者数[人]			1㎡あたりの利用者数[人]			貸館機能稼働率		
	H25	H26	H27	H25	H26	H27	H25	H26	H27
岩見沢市民会館	87,228	84,484	89,383	11.7	11.3	11.9	-	-	-
岩見沢市文化センター	115,979	92,783	92,616	31.0	24.8	24.7	-	-	-
岩見沢市イベントホール	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩見沢市コミュニティプラザ	22,292	22,533	23,729	5.0	5.0	5.3	17.4%	16.6%	17.9%
岩見沢市自治体ネットワークセンター	16,428	16,672	16,773	5.9	6.0	6.0	9.7%	9.1%	7.9%
岩見沢市栗沢市民センター	16,011	16,580	15,789	9.2	9.5	9.1	-	-	-
岩見沢市栗沢福祉会館	4,117	4,216	4,196	7.9	8.1	8.1	-	-	-
岩見沢市栗沢文化センター	23,852	22,549	21,247	11.2	10.6	10.0	-	-	-
北村環境改善センター	9,261	12,285	11,376	5.7	7.6	7.0	-	-	-
北村ふるさと学習館	4,514	3,955	3,232	8.5	7.4	6.1	-	-	-
いわみざわ公園野外音楽堂	40,800	39,500	34,742	42.0	40.6	35.7	-	-	-
平均	34,048	31,556	31,308	13.8	13.1	12.4	13.5%	12.8%	12.9%

■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

施設群としての再編の方向性

現状分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部施設について、施設の老朽化が進行している</li> <li>合併前の施設をそのまま引き継いでおり、同種、同機能の施設が重複している</li> </ul>
基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>広域的な視点からの施設配置を基本とし、利用需要や費用対効果を踏まえ必要に応じて統廃合を行う</li> </ul>
再編検討の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化施設は、老朽化が進行しているものの、一定の利用需要が見込めることから、維持を基本とする</li> <li>交流施設は、比較的新しい施設であり、一定の利用需要も見込めることから、維持を基本とする</li> <li>栗沢福祉会館及び栗沢文化センターは機能を栗沢市民センターに統合する</li> </ul>

施設ごとの方向性

施設名	方向性（第1期）	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
岩見沢市民会館	維持			方向性の検討	
	継続使用				
岩見沢市文化センター	維持			改修	
	改修				
岩見沢市イベントホール	維持			方向性の検討	
	継続使用				
岩見沢市コミュニティプラザ	維持	遊休スペースの利活用による運営効率化の検討		改修	
	改修				
岩見沢市自治体ネットワークセンター	維持			方向性の検討	
	継続使用				
岩見沢市栗沢市民センター	維持			建替	
	建替				
岩見沢市栗沢福祉会館	移転・統合	移転・統合		除却	
	除却				
岩見沢市栗沢文化センター	移転・統合	移転・統合		除却	
	除却				
北村環境改善センター	維持	利活用促進方策の検討		改修	
	改修				
北村ふるさと学習館	廃止		廃止	除却	
	除却				
いわみざわ公園野外音楽堂	維持			方向性の検討	
	継続使用				

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議		
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却

## 文化・交流・集会施設（地域）

### ■ 施設の概要

設置目的	地域社会経済及び文化の振興並びに市民福祉の増進を図るため		
施設総数	5 施設	総延床面積	4,390 m <sup>2</sup>
対象圏域	地域		
関連計画	-		

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
日の出コミュニティセンター	347.52	1979	-	39	20	2,964	27.1	
北ふれあいセンター	356.04	1990	-	28	30	2,553	47.0	
南コミュニティセンター	542.64	1998	-	20	50	3,516	8.9	
幌向総合コミュニティセンター	2,163.74	2000	-	18	40	1,709	31.3	幌向出張所と複合
美流渡コミュニティセンター	980.15	1980	-	38	50	6,088	5.0	
合計	4,390.09	平均		29	38	3,366	23.9	

#### 詳細情報

施設名	利用者数[人]			1m <sup>2</sup> あたりの利用者数[人]			貸館機能稼働率		
	H25	H26	H27	H25	H26	H27	H25	H26	H27
日の出コミュニティセンター	9,242	9,568	9,420	26.6	27.5	27.1	-	-	-
北ふれあいセンター	22,340	17,053	16,725	62.7	47.9	47.0	-	-	-
南コミュニティセンター	3,991	4,102	4,831	7.4	7.6	8.9	-	-	-
幌向総合コミュニティセンター	69,059	69,204	67,741	31.9	32.0	31.3	-	-	-
美流渡コミュニティセンター	4,945	4,413	4,914	5.0	4.5	5.0	3.9%	3.5%	4.4%
平均	21,915	20,868	20,726	26.7	23.9	23.9	3.9%	3.5%	4.4%

### ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

#### 施設群としての再編の方向性

現状分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部施設について、老朽化が進行している</li> <li>利用需要は、横ばいである</li> </ul>
基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域内の配置（市域の東西南北）を満たしている場合、新・増設は行わない</li> </ul>
再編検討の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>更新年到達時に、利用需要に応じた適正規模での再配置を検討する</li> <li>他施設との複合化や機能移転についても併せて検討する</li> </ul>

#### 施設ごとの方向性

施設名	方向性（第1期）	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
日の出コミュニティセンター	維持			方向性の検討	
	継続使用				
北ふれあいセンター	維持			方向性の検討	
	継続使用				
南コミュニティセンター	維持			方向性の検討	
	継続使用				
幌向総合コミュニティセンター	維持			方向性の検討	
	継続使用				
美流渡コミュニティセンター	維持			方向性の検討	
	継続使用				

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議		
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却

## 文化・交流・集会施設（旧岩見沢地区）

### ■ 施設の概要

設置目的	地域農業の振興と福祉の増進を図り、都市と農村との交流を促進するため		
施設総数	8 施設	総延床面積	3,987 m <sup>2</sup>
対象圏域	自治会・町会（一部は市域）		
関連計画	-		

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
岩峰地区農地流動化センター	296.46	1985	-	33	40	1,879	4.3	
鉄北地区多目的研修会館	647.76	1982	2003	15	30	713	8.8	
上幌向地区多目的研修会館	444.45	1989	-	29	30	1,265	24.0	
幌向川右岸地区多目的研修会館	280.60	1989	-	29	40	1,646	3.0	
大願地区多目的研修会館	270.17	1990	-	28	70	1,970	6.9	
御茶の水交流センター	693.11	2000	-	18	40	683	4.0	
朝日コミュニティ交流センター	569.87	1999	-	19	60	1,763	1.3	朝日出張所と複合
毛陽交流センター	784.49	1997	-	21	40	4,116	47.0	
合計	3,986.91		平均	24	44	1,755	12.4	

#### 詳細情報

施設名	利用者数[人]			1m <sup>2</sup> あたりの利用者数[人]			貸館機能稼働率		
	H25	H26	H27	H25	H26	H27	H25	H26	H27
岩峰地区農地流動化センター	1,269	1,285	1,269	4.3	4.3	4.3	-	-	-
鉄北地区多目的研修会館	5,979	5,527	5,728	9.2	8.5	8.8	-	-	-
上幌向地区多目的研修会館	11,079	10,239	10,650	24.9	23.0	24.0	-	-	-
幌向川右岸地区多目的研修会館	760	694	849	2.7	2.5	3.0	-	-	-
大願地区多目的研修会館	1,712	1,926	1,859	6.3	7.1	6.9	-	-	-
御茶の水交流センター	2,165	2,140	2,743	3.1	3.1	4.0	-	-	-
朝日コミュニティ交流センター	586	862	741	1.0	1.5	1.3	11.4%	10.0%	10.0%
毛陽交流センター	37,262	37,283	36,884	47.5	47.5	47.0	-	-	-
平均	7,602	7,495	7,590	12.4	12.2	12.4	11.4%	10.0%	10.0%

## ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

### 施設群としての再編の方向性

現状分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部の施設について、老朽化が進行している</li> <li>全体的に利用需要は低い</li> </ul>
基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会・町会単位で整備し、新・増設は行わない (今後建替はせず、廃止又は地元への譲渡を検討する)</li> </ul>
再編検討の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用が地域住民に限定される施設のため、廃止又は地元への譲渡を基本とする (地元と協議しながら具体的な再編を進める)</li> <li>地元譲渡の際は、修繕等にかかる費用負担の方法についても検討を要する</li> <li>出張所との複合施設は、出張所の再編方針と併せた検討を要する</li> </ul>

### 施設ごとの方向性

施設名	方向性 (第1期)	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
岩峰地区農地流動化センター	協議	}			
	譲渡・除却				
鉄北地区多目的研修会館	協議				
	譲渡・除却				
上幌向地区多目的研修会館	協議		地元との協議による再編の検討		
	譲渡・除却				
幌向川右岸地区多目的研修会館	協議				
	譲渡・除却				
大願地区多目的研修会館	協議				
	譲渡・除却				
御茶の水交流センター	維持			方向性の検討	
	継続使用				
朝日コミュニティ交流センター	維持			方向性の検討	
	継続使用				
毛陽交流センター	維持			方向性の検討	
	継続使用				

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議		
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却

## 文化・交流・集会施設（旧北村地区）

### ■ 施設の概要

設置目的	地域社会の福祉の増進と市民の生活文化の向上並びに青少年の健全育成を図るため		
施設総数	8 施設	総延床面積	3,746 m <sup>2</sup>
対象圏域	自治会・町会		
関連計画	-		

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
豊正地区自治会館	426.24	1975	-	43	20	1,179	2.6	旧北村豊正保育所に機能移転
豊里地区自治会館	497.70	1981	-	37	60	1,451	1.8	
共栄地区自治会館	498.10	1977	-	41	40	1,284	1.0	
美唄達布地区自治会館	208.67	1996	-	22	40	2,377	2.9	
幌達布地区自治会館	583.50	1996	-	22	70	1,166	4.3	
砂浜地区自治会館	694.42	2001	-	17	90	1,290	4.6	
東地区自治会館	517.03	1981	-	37	60	1,198	3.2	
旧北村豊正保育所	320.08	2001	-	17	50	-	-	豊正自治会館機能を移転
合計	3,745.74		平均	30	54	1,421	2.9	

#### 詳細情報

施設名	利用者数[人]			1m <sup>2</sup> あたりの利用者数[人]			貸館機能稼働率		
	H25	H26	H27	H25	H26	H27	H25	H26	H27
豊正地区自治会館	1,187	1,177	1,107	2.7	2.7	2.5	-	-	5.2%
豊里地区自治会館	1,074	1,046	888	2.2	2.1	1.8	-	-	1.9%
共栄地区自治会館	493	510	482	1.0	1.0	1.0	-	-	2.0%
美唄達布地区自治会館	753	714	611	3.6	3.4	2.9	-	-	3.4%
幌達布地区自治会館	3,174	1,785	2,511	5.4	3.1	4.3	-	-	5.5%
砂浜地区自治会館	2,792	1,953	3,218	4.0	2.8	4.6	-	-	6.5%
東地区自治会館	2,085	2,085	1,648	4.0	4.0	3.2	-	-	5.5%
旧北村豊正保育所	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平均	1,651	1,324	1,495	3.3	2.7	2.9	-	-	4.3%

## ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

### 施設群としての再編の方向性

現状分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部の施設について、老朽化が進行している</li> <li>全体的に利用需要は低い</li> </ul>
基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会・町会単位で整備し、新・増設は行わない (今後建替はせず、廃止又は地元への譲渡を検討する)</li> </ul>
再編検討の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用が地域住民に限定される施設のため、廃止又は地元への譲渡を基本とする (地元と協議しながら具体的な再編を進める)</li> <li>地元譲渡の際は、修繕等にかかる費用負担の方法についても検討を要する</li> <li>豊正地区自治会館は機能を旧北村豊正保育所に移転する</li> </ul>

### 施設ごとの方向性

施設名	方向性 (第1期)	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
豊正地区自治会館	協議	移転・統合			
	譲渡・除却	除却			
豊里地区自治会館	協議	移転・統合			
	譲渡・除却	除却			
共栄地区自治会館	協議	移転・統合			
	譲渡・除却	除却			
美唄達布地区自治会館	協議				
	譲渡・除却	地元との協議による再編の検討			
幌達布地区自治会館	協議				
	譲渡・除却				
砂浜地区自治会館	協議				
	譲渡・除却				
東地区自治会館	協議				
	譲渡・除却				
旧北村豊正保育所	協議	H28廃止済			
	譲渡・除却	転用			

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議		
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却



## 文化・交流・集会施設（旧栗沢地区）

### ■ 施設の概要

設置目的	地域社会の福祉の増進と市民の生活文化の向上並びに青少年の健全育成を図るため		
施設総数	12 施設	総延床面積	4,728 m <sup>2</sup>
対象圏域	自治会・町会		
関連計画	-		

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
上幌地区集会所	738.82	1958	-	60	40	753	5.0	
茂世丑地区集会所	669.73	1978	-	40	40	816	1.3	
東豊地区集会所	495.79	1960	-	58	0	1,157	1.0	
万字地区集会所	272.97	1995	-	23	20	1,913	1.8	
宮村地区集会所	198.74	1986	-	32	40	3,135	1.0	
弥生ヶ丘地区集会所	154.60	1994	-	24	20	1,785	2.6	
最上北栄地区集会所	166.86	1997	-	21	20	1,668	6.6	
西地区集会所	843.93	1982	-	36	20	1,522	4.0	
由良地区集会所	320.00	1993	-	25	20	1,941	4.8	
必成地区集会所	348.30	2003	-	15	50	1,457	12.3	
岐阜地区集会所	265.20	1983	-	35	60	2,360	3.9	
栗丘地区集会所	252.72	1994	-	24	40	1,733	2.4	
合計	4,727.66		平均	33	31	1,686	3.9	

#### 詳細情報

施設名	利用者数[人]			1m <sup>2</sup> あたりの利用者数[人]			貸館機能稼働率		
	H25	H26	H27	H25	H26	H27	H25	H26	H27
上幌地区集会所	3,107	3,298	3,701	4.2	4.5	5.0	-	-	-
茂世丑地区集会所	1,205	865	876	1.8	1.3	1.3	-	-	-
東豊地区集会所	363	564	520	0.7	1.1	1.0	-	-	-
万字地区集会所	436	409	489	1.6	1.5	1.8	-	-	-
宮村地区集会所	178	219	191	0.9	1.1	1.0	-	-	-
弥生ヶ丘地区集会所	531	428	408	3.4	2.8	2.6	-	-	-
最上北栄地区集会所	1,431	1,335	1,099	8.6	8.0	6.6	-	-	-
西地区集会所	3,217	3,967	3,409	3.8	4.7	4.0	-	-	-
由良地区集会所	1,397	1,784	1,536	4.4	5.6	4.8	-	-	-
必成地区集会所	4,028	4,603	4,271	11.6	13.2	12.3	-	-	-
岐阜地区集会所	1,205	1,154	1,039	4.5	4.4	3.9	-	-	-
栗丘地区集会所	776	767	618	3.1	3.0	2.4	-	-	-
平均	1,490	1,616	1,513	4.0	4.3	3.9	-	-	-

■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

施設群としての再編の方向性

現状分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部の施設について、老朽化が進行している</li> <li>全体的に利用需要は低い</li> </ul>
基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会・町会単位で整備し、新・増設は行わない (今後建替はせず、廃止又は地元への譲渡を検討する)</li> </ul>
再編検討の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用が地域住民に限定される施設のため、廃止又は地元への譲渡を基本とする (地元と協議しながら具体的な再編を進める)</li> <li>地元譲渡の際は、修繕等にかかる費用負担の方法についても検討を要する</li> </ul>

施設ごとの方向性

施設名	方向性 (第1期)	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期	
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57	
上幌地区集会所	協議					
	譲渡・除却					
茂世丑地区集会所	協議					
	譲渡・除却					
東豊地区集会所	協議					廃止
	譲渡・除却					
万字地区集会所	協議					
	譲渡・除却					
宮村地区集会所	協議					
	譲渡・除却					
弥生ヶ丘地区集会所	協議					
	譲渡・除却					地元との協議による再編の検討
最上北栄地区集会所	協議					
	譲渡・除却					
西地区集会所	協議					
	譲渡・除却					
由良地区集会所	協議					
	譲渡・除却					
必成地区集会所	協議					
	譲渡・除却					
岐阜地区集会所	協議					
	譲渡・除却					
栗丘地区集会所	協議					
	譲渡・除却					

【施設機能】 維持 移転・統合 廃止 協議  
 【建物本体】 継続使用 建替 改修 譲渡 転用 除却

## 特定地方交通線転換促進関連施設

### ■ 施設の概要

設置目的	国鉄地方交通線の廃止に伴い、この円滑な転換の促進と地域社会の福祉増進を図るため		
施設総数	4 施設	総延床面積	678 m <sup>2</sup>
対象圏域	地域		
関連計画	-		

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
万字線鉄道資料館	172.24	1985	-	33	25	4,175	1.0	
朝日交通会館	135.80	1986	-	32	25	15,113	-	朝日町内会館と複合
万字交通センター	188.54	1985	-	33	25	16,122	-	万字診療所と複合
美流渡交通センター	181.04	1985	-	33	60	9,859	-	
合計	677.62	平均		33	34	11,317	1.0	

#### 詳細情報

施設名	利用者数[人]			1m <sup>2</sup> あたりの利用者数[人]		
	H25	H26	H27	H25	H26	H27
万字線鉄道資料館	185	74	166	1.1	0.4	1.0
朝日交通会館	-	-	-	-	-	-
万字交通センター	-	-	-	-	-	-
美流渡交通センター	-	-	-	-	-	-
平均	185	74	166	1.1	0.4	1.0

### ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

#### 施設群としての再編の方向性

現状分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・築後30年以上経過しており、老朽化状況の詳細な調査を要する</li> <li>・利用実態が不明確である</li> </ul>
基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後建替はせず、廃止又は地元への譲渡を検討する</li> </ul>
再編検討の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必置性のない施設については、廃止を検討する</li> <li>・集会施設としての利活用の可能性があれば、地元譲渡についても検討する (地元と協議しながら具体的な再編を進める)</li> <li>・鉄道関係史料の集約・再編の検討を要する</li> </ul>

#### 施設ごとの方向性

施設名	方向性 (第1期)	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
万字線鉄道資料館	協議				
	譲渡・除却				
朝日交通会館	協議	地元との協議による再編の検討			
	譲渡・除却				
万字交通センター	協議	鉄道関係史料の集約・再編の検討			
	譲渡・除却				
美流渡交通センター	協議				
	譲渡・除却				

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議		
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却

## ⑪市営住宅等

### 市営住宅

■施設の概要		
設置目的	国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与するため	
施設総数	54 施設	総延床面積 146,546 m <sup>2</sup>
対象圏域	市域	
関連計画	岩見沢市公営住宅等長寿命化計画（平成30年度策定予定、計画期間平成31～40年度） 岩見沢市公営住宅ストック総合活用計画（平成21～30年度） 岩見沢市住宅マスタープラン（平成21～30年度）	

## ■ 施設一覽

### 基本情報

施設名	延床面積 [㎡]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/㎡)	利用 (入居率%)	
美鳩団地	6,951.22	1981	-	37	80	-914	98.8%	
6条東団地	1,792.48	1989	-	29	75	-3,539	100.0%	
6条中央団地	3,318.95	1978	-	40	13	-2,451	100.0%	
5条東団地	3,529.86	1990	-	28	25	-785	93.8%	
2条団地	1,738.79	2018	-	0	-	-	-	
3条西16団地	5,085.34	1980	-	38	38	-2,495	100.0%	
春日団地	1,829.12	1989	-	29	25	-2,448	92.9%	
北2条団地	754.19	1976	-	42	13	-560	90.0%	鉄北地区振興センターと複合
北5条団地	1,759.37	2014	-	4	100	-1,272	95.0%	
美園団地 (S57~S59)	7,061.28	1983	-	35	75	-2,316	99.0%	
美園団地 (S61~S62)	2,353.76	1987	-	31	25	-2,720	100.0%	
さくら木団地 (S48)	595.95	1973	-	45	25	-1,036	91.7%	
さくら木団地 (S51)	716.58	1976	-	42	25	-1,696	100.0%	
日の出南団地 (H7)	3,084.79	1995	-	23	25	-2,847	100.0%	
日の出南団地 (H8)	4,602.87	1998	-	20	25	-2,826	98.1%	
日の出北団地	5,520.71	1992	-	26	25	-3,176	95.3%	
日の出台団地	12,317.31	2010	-	8	80	-2,445	98.7%	
第1楓団地	5,040.40	1973	-	45	50	-1,670	95.8%	
第2楓団地 (S50)	-	1974	-	44	-	-	-	H30道営住宅移管
第2楓団地 (S50)	4,626.23	1974	-	44	63	-1,259	96.3%	
第2楓団地 (S51)	2,996.00	1976	-	42	63	-1,824	95.8%	
東町団地 (0-1・0-2)	774.06	1978	-	40	13	-2,235	91.7%	
東町団地 (0-3~0-9)	2,636.34	1978	-	40	13	-2,254	92.9%	
東町団地 (1-1-1・1-1-2)	740.04	1977	-	41	13	-1,401	75.0%	
東町団地 (3-1~3-6)	2,159.28	1977	-	41	13	-1,871	91.7%	
東町団地 (5-1~5-5)	2,737.20	1985	-	33	25	-2,521	95.0%	
東町団地 (12-2・12-3)	3,167.57	1977	-	41	13	-2,119	89.6%	
東町団地 (13-2・13-3)	3,368.36	1980	-	38	13	-1,285	87.5%	
東町団地 (14-2・14-3)	3,402.38	1981	-	37	25	-1,922	95.8%	
志文団地 (S46簡二)	570.18	1971	-	47	13	391	100.0%	
志文団地 (S46平屋)	594.88	1971	-	47	13	753	100.0%	
志文団地 (S46平屋身障)	498.38	1971	-	47	13	473	100.0%	
志文団地 (S47)	1,149.26	1972	-	46	13	-573	100.0%	
志文団地 (S48)	1,360.96	1973	-	45	13	-449	100.0%	
こぶし団地 (S52)	2,621.47	1977	-	41	13	3,749	100.0%	
こぶし団地 (S59)	4,029.50	1982	-	36	50	-2,046	95.0%	
北幌向団地	786.72	1979	-	39	63	-1,889	91.7%	
元町団地	2,348.82	1985	-	33	75	-2,777	90.6%	
第3東町団地	4,749.43	2003	-	15	70	-2,024	98.2%	
北1条団地	4,463.87	2011	-	7	100	-2,419	100.0%	
北村栄団地	253.72	1981	-	37	0	2,036	100.0%	
北栄団地	3,065.63	1990	-	28	25	-2,660	97.6%	
弥生ヶ丘団地	7,913.83	1996	-	22	75	-2,219	84.9%	
必成団地	333.00	1972	-	46	13	1,200	100.0%	
すずか団地	2,795.68	1981	-	37	38	-870	100.0%	H30除却済
ひばりヶ丘団地	1,980.16	1985	-	33	25	-1,086	84.0%	H30除却済 (一部)
栗沢栄団地	4,185.58	2016	-	2	-	-	-	
美流渡錦団地	310.08	1996	-	22	25	-91	100.0%	
美流渡栄団地	771.58	1980	-	38	0	135	100.0%	
美流渡福寿団地	343.00	1991	-	27	25	325	100.0%	
栗沢福寿住宅	325.12	1991	-	27	25	1,114	100.0%	
北村勤労者住宅	6,107.71	1998	-	20	50	-3,680	78.8%	
東町団地集会所	214.68	1981	-	37	13	3,766	-	
北栄団地集会所	112.54	1993	-	25	25	6,259	-	
合計	146,546.21	平均		33	34	-1,107	95.5%	

詳細情報

施設名	入居率[%]		
	H25	H26	H27
美鳩団地	97.5%	96.3%	98.8%
6条東団地	100.0%	100.0%	100.0%
6条中央団地	93.8%	93.8%	100.0%
5条東団地	100.0%	89.6%	93.8%
2条団地	-	-	-
3条西16団地	97.2%	98.6%	100.0%
春日団地	100.0%	100.0%	92.9%
北2条団地	100.0%	100.0%	90.0%
北5条団地	-	100.0%	95.0%
美園団地 (S57~S59)	97.9%	97.9%	99.0%
美園団地 (S61~S62)	100.0%	100.0%	100.0%
さくら木団地 (S48)	91.7%	83.3%	91.7%
さくら木団地 (S51)	100.0%	100.0%	100.0%
日の出南団地 (H7)	94.4%	94.4%	100.0%
日の出南団地 (H8)	100.0%	100.0%	98.1%
日の出北団地	100.0%	100.0%	95.3%
日の出台団地	98.7%	98.7%	98.7%
第1楓団地	94.8%	94.8%	95.8%
第2楓団地 (S50)	-	-	-
第2楓団地 (S50)	97.5%	97.5%	96.3%
第2楓団地 (S51)	93.8%	93.8%	95.8%
東町団地 (0-1・0-2)	83.3%	83.3%	91.7%
東町団地 (0-3~0-9)	90.5%	90.5%	92.9%
東町団地 (1-1-1・1-1-2)	91.7%	91.7%	75.0%
東町団地 (3-1~3-6)	94.4%	94.4%	91.7%
東町団地 (5-1~5-5)	95.0%	95.0%	95.0%
東町団地 (12-2・12-3)	89.6%	89.6%	89.6%
東町団地 (13-2・13-3)	89.6%	89.6%	87.5%
東町団地 (14-2・14-3)	91.7%	91.7%	95.8%
志文団地 (S46簡二)	100.0%	100.0%	100.0%
志文団地 (S46平屋)	100.0%	100.0%	100.0%
志文団地 (S46平屋身障)	87.5%	100.0%	100.0%
志文団地 (S47)	100.0%	100.0%	100.0%
志文団地 (S48)	100.0%	100.0%	100.0%
こぶし団地 (S52)	100.0%	100.0%	100.0%
こぶし団地 (S59)	96.7%	96.7%	95.0%
北幌向団地	91.7%	91.7%	91.7%
元町団地	100.0%	100.0%	90.6%
第3東町団地	94.5%	94.5%	98.2%
北1条団地	100.0%	100.0%	100.0%
北村栄団地	100.0%	100.0%	100.0%
北栄団地	100.0%	97.6%	97.6%
弥生ヶ丘団地	92.6%	94.6%	84.9%
必成団地	100.0%	100.0%	100.0%
すずかけ団地	100.0%	100.0%	100.0%
ひばりヶ丘団地	96.2%	96.2%	84.0%
栗沢栄団地	-	-	-
美流渡錦団地	100.0%	100.0%	100.0%
美流渡栄団地	100.0%	100.0%	100.0%
美流渡福寿団地	100.0%	75.0%	100.0%
栗沢福寿住宅	100.0%	100.0%	100.0%
北村勤労者住宅	83.3%	83.3%	78.8%
東町団地集会所	-	-	-
北栄団地集会所	-	-	-
平均	96.4%	95.8%	95.5%

## ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

### 施設群としての再編の方向性

現状分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公営住宅の延床面積合計は、公共施設総延床面積の20%以上に相当するため、積極的な総量削減を要する</li> <li>・入居率が100%の施設は、全体の37%に相当する</li> <li>・大規模改修を要する築後30年以上の施設は、全体の68%に相当する</li> <li>・全体的に老朽化が進行しているため、更新年到達時まで維持方針とする施設については、老朽化状況の詳細な調査を要する</li> </ul>
基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公営住宅等長寿命化計画に基づき検討する</li> </ul>
再編検討の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公営住宅等長寿命化計画の方針に基づき総量削減を進めていくことを基本とする</li> <li>・民間の活用も視野に入れつつ、老朽化の進展している施設及び入居率の低い施設を中心に、廃止と除却を進める</li> <li>・市営住宅内の集会所は、利用実態を踏まえて、地元への譲渡や更新年到達時に併せた除却を検討する</li> </ul>

### 施設ごとの方向性

施設名	方向性（第1期）	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
美鳩団地	別計画	}			
6条東団地	別計画				
6条中央団地	別計画				
5条東団地	別計画				
2条団地	別計画				
3条西16団地	別計画				
春日団地	別計画				
北2条団地	別計画			公営住宅等長寿命化計画に基づき検討	
北5条団地	別計画				
美園団地（S57～S59）	別計画				
美園団地（S61～S62）	別計画				
さくら木団地（S48）	別計画				
さくら木団地（S51）	別計画				
日の出南団地（H7）	別計画				

施設名	方向性(第1期)	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段:機能 下段:建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
日の出南団地 (H8)	別計画	道より移管			
日の出北団地	別計画				
日の出台団地	別計画				
第1 楓団地	別計画				
第2 楓団地 (S50)	別計画				
第2 楓団地 (S50)	別計画				
第2 楓団地 (S51)	別計画				
東町団地 (0-1・0-2)	別計画				
東町団地 (0-3~0-9)	別計画				
東町団地 (1-1-1・1-1-2)	別計画				
東町団地 (3-1~3-6)	別計画				
東町団地 (5-1~5-5)	別計画				
東町団地 (12-2・12-3)	別計画				
東町団地 (13-2・13-3)	別計画			公営住宅等長寿命化計画に基づき検討	
東町団地 (14-2・14-3)	別計画				
志文団地 (S46簡二)	別計画				
志文団地 (S46平屋)	別計画				
志文団地 (S46平屋身障)	別計画				
志文団地 (S47)	別計画				
志文団地 (S48)	別計画				
こぶし団地 (S52)	別計画				
こぶし団地 (S59)	別計画				



施設名	方向性(第1期)	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段:機能 下段:建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
北幌向団地	別計画				
元町団地	別計画				
第3東町団地	別計画				
北1条団地	別計画				
北村栄団地	別計画				
北栄団地	別計画				
弥生ヶ丘団地	別計画				
必成団地	別計画				
すずかけ団地	別計画	除却済			
ひばりヶ丘団地	別計画	除却済(一部)			
栗沢栄団地	別計画	公営住宅等長寿命化計画に基づき検討			
美流渡錦団地	別計画				
美流渡栄団地	別計画				
美流渡福寿団地	別計画				
栗沢福寿住宅	別計画				
北村勤労者住宅	別計画				
東町団地集会所	別計画				
北栄団地集会所	別計画				

【施設機能】 維持 移転・統合 廃止 協議  
 【建物本体】 継続使用 建替 改修 譲渡 転用 除却

## その他市有住宅

### ■ 施設の概要

設置目的	旧市営店舗併存住宅 公営住宅として設置後、用途廃止 旧村有住宅・収入役住宅 旧北村にて村有住宅として設置後、用途廃止して一般に貸付 各旧教員住宅 教員住宅として設置後、用途廃止して一般に貸付	
施設総数	8 施設	総延床面積 1,560 m <sup>2</sup>
対象圏域	旧行政区域	
関連計画	-	

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (入居率%)	
旧市営店舗併存住宅	591.87	1960	-	58	0	645	-	普通財産
旧村有住宅（北村砂浜）	247.85	1958	-	60	0	-947	75.0%	普通財産
旧村有住宅（北村中小屋）	198.30	1967	-	51	0	-496	25.0%	普通財産
旧職員住宅（栗沢町万字寿町）	109.90	1975	-	43	13	-666	100.0%	普通財産
旧教員住宅（栗沢町美流渡栄町）	214.85	1975	-	43	0	-659	100.0%	普通財産
旧教員住宅（朝日町）	45.22	1963	-	55	0	0	0.0%	普通財産
旧収入役住宅（北村栄町）	71.31	1967	-	51	0	-1,488	100.0%	普通財産
旧教員住宅（7条西2丁目）	80.47	1975	-	43	-	-	-	普通財産
合計	1,559.77	平均		51	2	-516	66.7%	

#### 詳細情報

施設名	入居率		
	H25	H26	H27
旧市営店舗併存住宅	-	-	-
旧村有住宅（北村砂浜）	100.0%	100.0%	75.0%
旧村有住宅（北村中小屋）	25.0%	25.0%	25.0%
旧職員住宅（栗沢町万字寿町）	100.0%	100.0%	100.0%
旧教員住宅（栗沢町美流渡栄町）	100.0%	100.0%	100.0%
旧教員住宅（朝日町）	0.0%	0.0%	0.0%
旧収入役住宅（北村栄町）	100.0%	100.0%	100.0%
旧教員住宅（7条西2丁目）	-	-	-
平均	70.8%	70.8%	66.7%

## ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

### 施設群としての再編の方向性

現状分析	・老朽化が進行しており、入居率が低い
基本的な考え方	・行政としての必置性はなく、順次廃止を進める
再編検討の方向性	・老朽化や入居状況を踏まえて順次廃止する ・入居者の退去時点で廃止とする ・施設の更新や大規模改修は実施しない

### 施設ごとの方向性

施設名	方向性 (第1期)	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
旧市営店舗併存住宅	廃止	}			
	除却				
旧村有住宅（北村砂浜）	廃止				
	除却				
旧村有住宅（北村中小屋）	廃止				
	除却				
旧職員住宅（栗沢町万字寿町）	廃止				
	除却		入居者退去時点での廃止・除却を検討		
旧教員住宅（栗沢町美流渡栄町）	廃止				
	除却				
旧教員住宅（朝日町）	廃止				
	除却				
旧収入役住宅（北村栄町）	廃止				
	除却				
旧教員住宅（7条西2丁目）	廃止				
	除却				

【施設機能】 維持 移転・統合 廃止 協議  
 【建物本体】 継続使用 建替 改修 譲渡 転用 除却

## ⑫廃棄物処理施設

### 廃棄物処理施設

#### ■ 施設の概要

設置目的	一般廃棄物の適正処理、資源化及び再利用を促進し、循環型社会の形成を推進するため		
施設総数	7 施設	総延床面積	19,895 m <sup>2</sup>
対象圏域	市域		
関連計画	岩見沢市一般廃棄物処理基本計画（平成29～38年度）		

#### ■ 施設一覧

##### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
いわみざわ環境クリーンプラザ	9,514.93	2015	-	3	100	77,218	-	
文向台衛生センター	2,840.42	1968	-	50	20	24,954	-	
共同汚水処理施設	-	2018	-	0	-	-	-	H30新設
岩見沢じん芥処理センター	3,263.98	1972	-	46	50	53,126	-	供用終了
岩見沢じん芥処理センター・リサイクルセンター	1,935.30	2002	-	16	60	1,035	-	供用終了
岩見沢じん芥処理センター（旧北村焼却施設）	2,068.50	1994	-	24	20	940	-	供用終了
じん芥処理センター・栗沢リサイクル施設	271.84	2001	-	17	60	0	-	供用終了
合計	19,894.97		平均	22	52	26,212	-	

#### ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

##### 施設群としての再編の方向性

現状分析	・いわみざわ環境クリーンプラザに機能を集約し、その他既存施設は供用廃止を推進
基本的な考え方	・需要に応じて、市域単位で設置する
再編検討の方向性	・いわみざわ環境グリーンプラザは長寿命化を前提とした、維持方針とする ・文向台衛生センターは共同汚水処理施設への移行により廃止とする

##### 施設ごとの方向性

施設名	方向性（第1期）	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
いわみざわ環境クリーンプラザ	維持				方向性の検討
	継続使用				
文向台衛生センター	廃止	廃止			
	除却	除却			
共同汚水処理施設	維持				
	継続使用	H30新設			
岩見沢じん芥処理センター	廃止	廃止済	計画的な転用・譲渡・除却を推進		
	転用・除却	転用・除却			
岩見沢じん芥処理センター・リサイクルセンター	廃止	廃止済	計画的な転用を推進		
	転用	転用			
岩見沢じん芥処理センター（旧北村焼却施設）	廃止	廃止済	計画的な譲渡・除却を推進		
	譲渡・除却	譲渡・除却			
じん芥処理センター・栗沢リサイクル施設	廃止	廃止済	計画的な転用を推進		
	転用	転用			

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議		
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却

### ⑬火葬場、墓苑

#### 火葬場、墓苑

##### ■ 施設の概要

設置目的	火葬・埋葬等を行うため		
施設総数	3 施設	総延床面積	2,222 m <sup>2</sup>
対象圏域	市域		
関連計画	-		

##### ■ 施設一覧

###### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
緑が丘霊園	240.24	1998	-	20	25	3,356	-	
火葬場（浄安殿）	1,966.07	1996	-	22	50	8,060	-	
利根別墓地外 1 2	15.95	2003	-	15	-	-	-	
合計	2,222.26	平均		19	38	5,708	-	

##### ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

###### 施設群としての再編の方向性

現状分析	・施設性能が低い傾向にあり、老朽化状況の確認を要する
基本的な考え方	・火葬場は、市域で1箇所設置する ・墓苑は必要性に応じて、市域単位で数箇所設置する
再編検討の方向性	・長寿命化を前提とした、維持方針とする

###### 施設ごとの方向性

施設名	方向性（第1期）	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
緑が丘霊園	維持			方向性の検討	
	継続使用				
火葬場（浄安殿）	維持				
	改修		改修		
利根別墓地外 1 2	維持				
	継続使用				

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議		
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却

⑭車庫・倉庫等  
道路管理事務所

■ 施設の概要

設置目的	道路管理事務所 道路・河川等パトロールの拠点施設とするため 道路管理事務所（整備工場） 庁用自動車の整備を行うため 道路管理事務所（車庫） 除排雪機械を格納するため		
施設総数	3 施設	総延床面積	1,723 m <sup>2</sup>
対象圏域	市域		
関連計画	-		

■ 施設一覧

基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
道路管理事務所	234.35	1981	-	37	25	11,526	-	
道路管理事務所（整備工場）	363.00	1981	-	37	25	17,907	-	
道路管理事務所（車庫）	1,125.88	1981	-	37	-	-	-	
合計	1,723.23	平均		37	25	14,716	-	

■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

施設群としての再編の方向性

現状分析	・老朽化状況について、詳細な調査を要する
基本的な考え方	・需要に応じて、市域単位で設置し、民間代替も含めた機能維持を基本とする
再編検討の方向性	・道路管理事務所は、本庁舎への機能移転、整備工場は民間代替を検討したうえで、廃止・除却とする ・車庫は、既存市有施設等への機能移転を行ったうえで、除却とする

施設ごとの方向性

施設名	方向性（第1期）	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
道路管理事務所	移転・統合		移転・統合		
	除却		除却		
道路管理事務所（整備工場）	廃止		廃止		
	除却		除却		
道路管理事務所（車庫）	移転・統合		移転・統合		
	除却		除却		

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議		
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却

## その他の車庫・倉庫等

### ■ 施設の概要

設置目的	公用車等を格納するため		
施設総数	18 施設	総延床面積	6,105 m <sup>2</sup>
対象圏域	-		
関連計画	-		

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
スクールバス車庫 (岩見沢)	154.78	1980	-	38	-	-	-	車庫
スクールバス車庫 (北村)	619.00	2006	-	12	-	-	-	車庫
スクールバス車庫 (栗沢町必成)	364.00	1998	-	20	25	36	-	車庫
スクールバス車庫 (栗沢町美流渡栄町)	64.80	1979	-	39	-	-	-	車庫
自動車車庫	589.54	1979	-	39	30	-	-	車庫
栗沢支所公用車車庫	104.72	2017	-	1	-	-	-	車庫
公用車車庫 (北村赤川)	323.00	2004	-	14	25	-	-	車庫
美流渡出張所車庫	15.75	2001	-	17	-	-	-	車庫
車両センター①②③	1,215.04	1997	-	21	20	1,533	-	車庫
除雪機械車庫	622.20	2004	-	14	60	1,007	-	車庫
水防倉庫	61.68	2006	-	12	-	-	-	倉庫
船格納庫	38.00	1993	-	25	-	-	-	倉庫
確認申請書類収納庫	24.56	1990	-	28	-	-	-	倉庫
水道庁舎緊急用資材倉庫	21.00	2013	-	5	-	-	-	倉庫
水防倉庫 (北村中央)	160.12	1975	-	43	-	184	-	倉庫
旧栗沢農業パワーアップセンター	536.11	1998	-	20	30	-	-	倉庫
栗沢支所付属倉庫	215.28	2016	-	2	-	-	-	倉庫
旧保健センター分室	975.06	1984	-	34	30	5,290	12.0	倉庫、夜間急病センターと複合
合計	6,104.64		平均	21	33	2,003	-	

## ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

### 施設群としての再編の方向性

現状分析	・一部の施設について、老朽化が進行している
基本的な考え方	・主たる建物がある場合は、当該建物の方向性と一体で検討する
再編検討の方向性	・更新年到達迄を前提に、維持を基本とする ・利用実態を確認の上、更新年到達時に建替・廃止・譲渡等を検討する

### 施設ごとの方向性

施設名	方向性 (第1期)	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
スクールバス車庫 (岩見沢)	移転・統合	移転・統合			
	除却	除却			
スクールバス車庫 (北村)	維持	状況に応じた改修・更新を実施			
	継続使用				
スクールバス車庫 (栗沢町必成)	維持	状況に応じた改修・更新を実施			
	継続使用				
スクールバス車庫 (栗沢町美流渡栄町)	維持	状況に応じた改修・更新を実施			
	継続使用				
自動車車庫	維持				
	建替		建替		
栗沢支所公用車車庫	維持				
	継続使用				
公用車車庫 (北村赤川)	維持	状況に応じた改修・更新を実施			
	継続使用				
美流渡出張所車庫	維持	複合・併設施設と併せて検討			
	継続使用				
車両センター①②③	維持	状況に応じた改修・更新を実施			
	継続使用				
除雪機械車庫	維持	状況に応じた改修・更新を実施			
	継続使用				
水防倉庫	維持	状況に応じた改修・更新を実施			
	継続使用				
船格納庫	維持	保管物の移転・廃棄の検討			
	継続使用				
確認申請書類収納庫	維持	状況に応じた改修・更新を実施			
	継続使用				
水道庁舎緊急用資材倉庫	維持	状況に応じた改修・更新を実施			
	継続使用				
水防倉庫 (北村中央)	維持	状況に応じた改修・更新を実施			
	継続使用				
旧栗沢農業パワーアップセンター	維持	保管物の移転・廃棄の検討		方向性の検討	
	継続使用				
栗沢支所付属倉庫	維持				
	継続使用				
旧保健センター分室	維持	複合施設と併せて検討			
	継続使用				

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議			
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却	



⑮その他

その他の施設

■ 施設の概要

設置目的	利根別原生林ウォーキングセンター 自然保護の普及及び環境に優しい文化の創造に向けた活動に寄与するため 北村自然体験宿泊学習館 青少年の健全な育成及び社会教育活動の推進を図るため		
施設総数	2 施設	総延床面積	1,908 m <sup>2</sup>
対象圏域	広域		
関連計画	-		

■ 施設一覧

基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
利根別原生林ウォーキングセンター	299.75	1997	-	21	50	13,718	13.7	
北村自然体験宿泊学習館	1,608.44	1974	-	44	30	4,214	2.4	
合計	1,908.19	平均		33	40	8,966	8.0	

詳細情報

施設名	利用者数[人]			1m <sup>2</sup> あたりの利用者数[人]		
	H25	H26	H27	H25	H26	H27
利根別原生林ウォーキングセンター	4,060	4,064	4,097	13.5	13.6	13.7
北村自然体験宿泊学習館	2,937	2,767	3,817	1.8	1.7	2.4
平均	3,499	3,416	3,957	7.7	7.6	8.0

■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

施設群としての再編の方向性

現状分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化状況の詳細な調査を要する</li> <li>・利用需要は横ばい又は増加傾向にある</li> </ul>
基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新・増設は行わない</li> </ul>
再編検討の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化状況と利用実態を踏まえ、維持する必要性について検討を要する</li> <li>・利根別原生林ウォーキングセンターは更新年到達迄を前提に、維持を基本とする</li> </ul>

施設ごとの方向性

施設名	方向性 (第1期)	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
利根別原生林ウォーキングセンター	維持	利活用促進方策の検討	改修		
	改修				
北村自然体験宿泊学習館	廃止		廃止		
	除却				

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議			
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却	

## ⑩小規模施設

### 小規模施設

#### ■施設の概要

設置目的	各バス待合所 バス利用者の利便性の向上を図るため 岩見沢市野外音楽ステージ 恵まれた自然環境の中で音楽等を通じて市民の自主的な文化活動を奨励するため 栗沢駅前広場トイレ 駅利用者、イベント開催時の利便性を図るため		
施設総数	13 施設	総延床面積	198 m <sup>2</sup>
対象圏域	市域		
関連計画	-		

#### ■施設一覧

##### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
バス待合所（東町）	10.00	1987	-	31	-	-	-	
万字バス待合所	22.80	1978	-	40	-	-	-	
バス待合所（日の出6丁目）	11.08	1990	-	28	-	-	-	
バス待合所（並木町）	16.34	1990	-	28	-	-	-	
バス待合所（北村赤川）	24.42	1993	-	25	-	-	-	
バス待合所（北村幌達布）	18.41	1990	-	28	-	-	-	
栗沢中学校バス待合所	6.00	2006	-	12	-	-	-	
寿町バス待合所	9.87	2006	-	12	-	-	-	
巴公園前バス待合所	5.19	2006	-	12	-	-	-	
北通りバス待合所	3.71	1998	-	20	-	-	-	
岩見沢市野外音楽ステージ	34.71	1979	-	39	-	-	24.1	
栗沢駅前広場トイレ	10.53	2016	-	2	-	-	-	
バルクタンク	25.35	2003	-	15	-	-	-	
合計	198.41	平均		22	-	-	24.1	

##### 詳細情報

施設名	利用者数[人]			1m <sup>2</sup> あたりの利用者数[人]		
	H25	H26	H27	H25	H26	H27
バス待合所（東町）	-	-	-	-	-	-
万字バス待合所	-	-	-	-	-	-
バス待合所（日の出6丁目）	-	-	-	-	-	-
バス待合所（並木町）	-	-	-	-	-	-
バス待合所（北村赤川）	-	-	-	-	-	-
バス待合所（北村幌達布）	-	-	-	-	-	-
栗沢中学校バス待合所	-	-	-	-	-	-
寿町バス待合所	-	-	-	-	-	-
巴公園前バス待合所	-	-	-	-	-	-
北通りバス待合所	-	-	-	-	-	-
岩見沢市野外音楽ステージ	700	700	835	20.2	20.2	24.1
栗沢駅前広場トイレ	-	-	-	-	-	-
バルクタンク	-	-	-	-	-	-
平均	700	700	835	20.2	20.2	24.1

## ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

### 施設群としての再編の方向性

現状分析	・建築年の古い施設を中心に、維持に必要な対応を検討する必要がある
基本的な考え方	・新・増設は行わない
再編検討の方向性	・更新年到達迄を前提に、維持を基本とする ・利用実態を確認の上、更新年到達時に建替・除却等を検討する

### 施設ごとの方向性

施設名	方向性（第1期）	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
各バス待合所	維持				
	継続使用				
岩見沢市野外音楽ステージ	廃止		廃止		
	除却		除却		
栗沢駅前広場トイレ	維持				
	継続使用				
バルクタンク	維持				
	継続使用				

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議		
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却

⑰その他普通財産等

その他普通財産等

■施設の概要

設置目的	-		
施設総数	15 施設	総延床面積	17,732 m <sup>2</sup>
対象圏域	-		
関連計画	-		

■施設一覧

基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
旧岩見沢消防署東出張所	168.51	1968	-	50	20	5,828	-	普通財産
旧学校給食岩見沢共同調理所	1,319.71	1980	-	38	-	23,974	-	普通財産
旧学校給食北村共同調理所	262.38	1966	-	52	20	14,020	-	普通財産
旧学校給食栗沢共同調理所	297.80	1968	-	50	-	23,255	-	普通財産
競馬場	11,989.22	1970	-	48	0	365	-	普通財産
旧職員住宅	198.68	1974	-	44	38	0	-	普通財産
旧北村公民館	967.60	1965	-	53	10	465	-	普通財産
旧北村農業資料館	472.39	1982	-	36	20	4,375	0.5	普通財産
旧東栄デイ・サービスセンター	77.50	1998	-	20	20	0	-	普通財産
旧朝日配水池	83.53	1954	-	64	0	0	-	水道事業会計
旧農村婦人の家	410.10	1986	-	32	25	0	-	普通財産
旧東豊小学校（集荷施設・工房）	536.00	1960	-	58	0	-70	-	普通財産
旧豊正小学校体育館	406.00	1971	-	47	0	0	-	普通財産
旧伊藤炭鉱事務所	200.82	1955	-	63	0	-340	-	普通財産
市営住宅関連建物	341.82	1989	-	29	-	-	-	普通財産
合計	17,732.06		平均	46	13	5,134	0.5	

詳細情報

施設名	利用者数[人]			1m <sup>2</sup> あたりの利用者数[人]		
	H25	H26	H27	H25	H26	H27
旧岩見沢消防署東出張所	-	-	-	-	-	-
旧学校給食岩見沢共同調理所	-	-	-	-	-	-
旧学校給食北村共同調理所	-	-	-	-	-	-
旧学校給食栗沢共同調理所	-	-	-	-	-	-
競馬場	-	-	-	-	-	-
旧職員住宅	-	-	-	-	-	-
旧北村公民館	1,612	-	-	-	-	-
旧北村農業資料館	332	189	232	0.7	0.4	0.5
旧東栄デイ・サービスセンター	772	-	-	10.0	-	-
旧朝日配水池	-	-	-	-	-	-
旧農村婦人の家	-	-	-	-	-	-
旧東豊小学校（集荷施設・工房）	-	-	-	-	-	-
旧豊正小学校体育館	-	-	-	-	-	-
旧伊藤炭鉱事務所	-	-	-	-	-	-
市営住宅関連建物	-	-	-	-	-	-
平均	905	189	232	5.3	0.4	0.5

## ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

### 施設群としての再編の方向性

現状分析	・一部施設について、老朽化が進行している
基本的な考え方	・計画的に除却、譲渡等を進める
再編検討の方向性	・老朽化の進んでいる施設は速やかに除却を検討する ・新しい施設は譲渡や他の施設への転用を検討する

### 施設ごとの方向性

施設名	方向性（第1期）	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
旧岩見沢消防署東出張所	廃止	廃止済			
	除却	除却			
旧学校給食岩見沢共同調理所	廃止	廃止済			
	除却	除却			
旧学校給食北村共同調理所	廃止	廃止済			
	除却	除却			
旧学校給食栗沢共同調理所	廃止	廃止済			
	除却	除却			
競馬場	廃止	廃止済			
	除却	競馬場跡地の利活用と併せて検討			
旧職員住宅	廃止	廃止済			
	除却	除却			
旧北村公民館	廃止	廃止済			
	除却	除却			
旧北村農業資料館	廃止	廃止済	郷土科学館等と併せて再編を検討		
	除却	除却			
旧東栄デイ・サービスセンター	廃止	廃止済			
	譲渡・除却	貸与終了時点の譲渡・除却を検討			
旧朝日配水池	廃止	廃止済			
	除却	除却			
市営住宅関連建物	廃止	廃止済			
	除却	除却			
旧農村婦人の家	廃止	廃止済			
	除却	貸与終了時点の除却を検討			
旧東豊小学校（集荷施設・工房）	廃止	廃止済			
	除却	貸与終了時点の除却を検討			
旧豊正小学校体育館	廃止	廃止済			
	譲渡・除却	貸与終了時点の譲渡・除却を検討			
旧伊藤炭鉱事務所	廃止	廃止済			
	除却	貸与終了時点の除却を検討			

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議			
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却	

## ⑱ インフラ施設

### 公園附属施設

■ 施設の概要		
設置目的	-	
施設総数	24 施設	総延床面積 9,877 m <sup>2</sup>
対象圏域	-	
関連計画	岩見沢市緑の基本計画（平成18～37年度） 岩見沢市公園施設長寿命化計画（平成26～35年度） 岩見沢市農業振興ビジョン（平成29～33年度）	

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人)	
街区公園	418.06	1992	-	26	25	67,632	-	60箇所
あやめ公園	167.84	1994	-	24	20	18,522	2,715	地区公園
栗沢中央公園	315.88	1997	-	21	33	34,397	-	地区公園
ひょうたん沼交流広場公園	95.86	1997	-	21	25	-	9,528	地区公園
東山公園	135.23	2002	-	16	70	193,180	-	総合公園
いわみざわ公園	5,802.62	2002	2012	6	100	16,242	206,132	総合公園
利根別自然公園	84.76	1996	2013	5	50	-	-	総合公園
緑地	617.07	1993	-	25	25	136,283	-	17箇所
農山村地域公園	371.21	1997	-	21	25	54,238	-	8箇所
栗沢ふるさとの森冒険ランド	138.21	1989	-	29	33	21,119	9,135	管理棟他
農村体験公園	1,543.40	1997	-	21	50	9,587	1,480	管理棟他
あけぼの公園	12.56	1978	-	40	0	-	-	近隣公園
こもれび公園	5.27	1994	-	24	25	-	-	近隣公園
にれの木公園	3.36	1990	-	28	25	-	-	近隣公園
みなみまち公園	5.27	2014	-	4	100	-	-	近隣公園
みなみ公園	37.28	1989	-	29	25	-	-	近隣公園
玉泉館跡地公園	60.60	1999	-	19	75	-	16,358	近隣公園
元町公園	6.90	1995	-	23	25	-	-	近隣公園
山七公園	23.18	1991	-	27	25	-	-	近隣公園
水明公園	5.27	2006	-	12	100	-	-	近隣公園
孫別公園	1.10	1972	-	46	0	-	-	近隣公園
入徳公園	5.27	1994	-	24	25	-	-	近隣公園
あさぎり公園	5.27	2004	-	14	75	-	-	近隣公園
ふれあい広場	16.00	2000	-	18	25	-	-	その他公園
合計	9,877.47		平均	22	41	61,245	-	

### ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

#### 施設群としての再編の方向性

現状分析	・人口減少や少子高齢化とともに、設置当時から需要が大きく変わっていることが想定される
基本的な考え方	・都市計画マスタープランや緑の基本計画における方向性との整合や、公園施設長寿命化計画、農業振興ビジョンに基づき検討する
再編検討の方向性	・公園施設長寿命化計画に基づく検討のほか、大規模な施設については、利用需要を踏まえた個別の検討を要する

施設ごとの方向性

施設名	方向性（第1期）	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
街区公園	別計画				
あやめ公園	別計画				
栗沢中央公園	別計画				
ひょうたん沼交流広場公園	別計画				
東山公園	別計画				
いわみざわ公園	別計画				
利根別自然公園	別計画				
緑地	別計画				
農山村地域公園	別計画				
栗沢ふるさとの森冒険ランド	別計画				
農村体験公園	別計画				
あけぼの公園	別計画				
こもれび公園	別計画	公園施設長寿命化計画等に基づき検討			
にれの木公園	別計画				
みなみまち公園	別計画				
みなみ公園	別計画				
玉泉館跡地公園	別計画				
元町公園	別計画				
山七公園	別計画				
水明公園	別計画				
孫別公園	別計画				
入徳公園	別計画				
あさぎり公園	別計画				
ふれあい広場	別計画				

【施設機能】 維持 移転・統合 廃止 協議  
 【建物本体】 継続使用 建替 改修 譲渡 転用 除却

## 排水機場

### ■ 施設の概要

設置目的	各排水機場 湛水被害の軽減を図るとともに、地域の農業生産の向上と農業経営の安定化を目指すため		
施設総数	3 施設	総延床面積	655 m <sup>2</sup>
対象圏域	市域		
関連計画	-		

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
赤川第3排水機場	298.18	1986	-	32	25	1,164	-	
砺波排水機場	274.41	1985	2017	1	-	961	-	
幌達布排水機場	82.08	2004	-	14	75	-	-	
合計	654.67		平均	16	50	1,063	-	

### ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

#### 施設群としての再編の方向性

現状分析	・建築年の古い施設を中心に、維持に必要な処置を計画的に講じていく必要がある
基本的な考え方	・ライフラインとして不可欠な施設として維持する
再編検討の方向性	・別途計画において具体的な維持管理方針を検討のうえ、長寿命化を推進する

#### 施設ごとの方向性

施設名	方向性 (第1期)	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
赤川第3排水機場	維持	改修			
	改修				
砺波排水機場	維持	H29大規模改修実施			
	継続使用				
幌達布排水機場	維持				方向性の検討
	継続使用				

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議		
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却



⑭企業会計

インフラ（上水道施設関係）

■ 施設の概要

設置目的	良質な水道水を供給するため		
施設総数	18 施設	総延床面積	7,899 m <sup>2</sup>
対象圏域	市域		
関連計画	岩見沢市地域水道ビジョン（平成23～32年度）		

■ 施設一覧

基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
第1配水池	2,851.68	1956	-	62	38	1,665	-	
第2配水池	2,299.92	1970	-	48	88	2,787	-	
由良配水池	396.80	1971	-	47	63	6,189	-	
最上配水池	192.50	1962	-	56	0	8,140	-	
福祉村配水池	288.44	1980	-	38	0	23,000	-	
美流渡配水池	187.23	1984	-	34	75	13,675	-	
上美流渡配水池	199.85	2001	-	17	75	9,838	-	
万字配水池	421.57	2002	-	16	75	4,308	-	
上幌配水池	170.62	1988	-	30	33	-	-	
北村配水池	352.03	1989	-	29	25	10,905	-	
美流渡送水ポンプ場	135.62	2001	-	17	75	21,790	-	
万字送水ポンプ場	69.09	2000	-	18	-	-	-	
美流渡簡水接合井	54.00	2001	-	17	-	-	-	
分水流量計室	10.20	2002	-	16	-	-	-	
第1配水池管理人住宅	77.30	1977	-	41	-	-	-	
第2配水池管理人住宅	62.00	1986	-	32	-	-	-	
第1配水池器材庫	50.00	1976	-	42	-	-	-	
第1配水池資材庫	80.00	1986	-	32	-	-	-	
合計	7,898.85		平均	33	50	10,230	-	



## インフラ（下水道施設関係）

### ■ 施設の概要

設置目的	汚水処理事業を行うため		
施設総数	11 施設	総延床面積	28,257 m <sup>2</sup>
対象圏域	市域		
関連計画	岩見沢市下水道中期ビジョン（平成22～31年度）		

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
南光園処理場	18,723.65	1995	-	23	60	12,707	-	
幌向終末処理場	4,773.97	1999	-	19	30	6,679	-	
幌向北終末処理場	541.28	1988	-	30	25	26,088	-	
第1中継ポンプ場	769.59	2014	-	4	100	18,972	-	
上幌向ポンプ場	95.89	1990	-	28	20	-	-	
幌向ポンプ場	79.39	1999	-	19	20	-	-	
東町ポンプ所	76.51	1995	-	23	20	-	-	
緑町ポンプ所	69.59	1989	-	29	20	-	-	
北村農業集落排水施設	704.85	1999	-	19	20	16,294	-	
北村農業集落排水施設ポンプ所	101.25	1985	-	33	20	6,117	-	
栗沢下水道管理センター	2,320.58	1992	-	26	20	18,678	-	
合計	28,256.55		平均	23	32	15,076	-	

## ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

### 施設群としての再編の方向性

現状分析	・建築年の古い施設を中心に、維持に必要な処置を計画的に講じていく必要がある
基本的な考え方	・ライフラインとして不可欠な施設として維持する
再編検討の方向性	・別途計画において具体的な維持管理方針を検討のうえ、長寿命化を推進する ・使用されていない施設があれば計画的に廃止・除却する

### 施設ごとの方向性

施設名	方向性（第1期）	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
南光園処理場	別計画				
幌向終末処理場	別計画				
幌向北終末処理場	別計画				
第1中継ポンプ場	別計画				
上幌向ポンプ場	別計画				
幌向ポンプ場	別計画	関連計画に基づき検討			
東町ポンプ所	別計画				
緑町ポンプ所	別計画				
北村農業集落排水施設	別計画				
北村農業集落排水施設ポンプ所	別計画				
栗沢下水道管理センター	別計画				

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議		
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却

## 病院

### ■ 施設の概要

設置目的	岩見沢市立総合病院、岩見沢市立栗沢病院 市民の健康保持に必要な医療を提供するため 岩見沢市立病院 院内保育園 子育てと仕事の両立の支援及び人材確保と良質な医療提供体制の充実を図るため		
施設総数	3 施設	総延床面積	35,091 m <sup>2</sup>
対象圏域	広域		
関連計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩見沢市立総合病院 新改革プラン（平成28～32年度）</li> <li>・岩見沢市立栗沢病院 新改革プラン（平成28～32年度）</li> </ul>		

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	利用 (人/m <sup>2</sup> )	
岩見沢市立総合病院	30,930.69	1985	-	33	42	-318,464	4.4	
岩見沢市立栗沢病院	3,958.00	1974	-	44	33	-100,636	4.7	
岩見沢市立総合病院 院内保育園	201.84	2015	-	3	100	77,699	-	
合計	35,090.53		平均	27	58	-113,800	4.5	

### ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

#### 施設群としての再編の方向性

現状分析	・病院は、いずれも老朽化が進行している
基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩見沢市立総合病院：南空知圏域内における中核的役割・急性期医療を担う</li> <li>・岩見沢市立栗沢病院：旧栗沢町圏域内における地域医療・慢性期医療を担う</li> </ul>
再編検討の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道内における地域医療構想や社会情勢に応じた適正規模での再編を検討する</li> <li>・各病院の新改革プランや策定を進めている新岩見沢市立総合病院建設基本構想に基づき検討する</li> </ul>

#### 施設ごとの方向性

施設名	方向性（第1期）	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
岩見沢市立総合病院	別計画				
岩見沢市立栗沢病院	別計画	各病院の新改革プランや病院建設基本構想に基づき検討			
岩見沢市立総合病院 院内保育園	別計画				

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議		
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却

## 医師住宅・看護師宿舎

### ■ 施設の概要

設置目的	居住地の提供による医療職の確保のため		
施設総数	3 施設	総延床面積	1,822 m <sup>2</sup>
対象圏域	市域		
関連計画	-		

### ■ 施設一覧

#### 基本情報

施設名	延床面積 [m <sup>2</sup> ]	建築年	大規模 改修 実施年	経過年	一次評価			備考
					性能 (/100点)	コスト (円/m <sup>2</sup> )	入居率 (%)	
岩見沢市立総合病院 医師住宅 1	106.82	1981	-	37	20	-562	100.0%	
岩見沢市立総合病院 医師住宅 2	440.00	1986	-	32	20	-2,895	100.0%	
岩見沢市立総合病院 看護師宿舎	1,275.35	1990	-	28	20	-1,800	75.0%	
合計	1,822.17	平均		32	20	-1,752	91.7%	

#### 詳細情報

施設名	入居率		
	H25	H26	H27
岩見沢市立総合病院 医師住宅 1	100.0%	100.0%	100.0%
岩見沢市立総合病院 医師住宅 2	100.0%	75.0%	100.0%
岩見沢市立総合病院 看護師宿舎	-	-	75.0%
平均	100.0%	87.5%	91.7%

### ■ 施設配置の基本的な考え方、再編検討の方向性

#### 施設群としての再編の方向性

現状分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に施設の老朽化が進行し、施設性能も低い傾向にある</li> <li>・入居率は高い傾向にある</li> <li>・採算性は確保されている</li> </ul>
基本的な考え方	・老朽化の進行により順次廃止を進め、民間活用による代替を検討する
再編検討の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者退去時点での廃止・除却を検討する</li> <li>・施設の更新や大規模改修は実施しない</li> <li>・病院の再編と併せた検討を要する</li> </ul>

#### 施設ごとの方向性

施設名	方向性 (第1期)	第1期・前	第1期・後	第2期	第3期
	上段：機能 下段：建物	H30-H33	H34-H37	H38-H47	H48-H57
岩見沢市立総合病院 医師住宅 1	廃止 除却	}			
岩見沢市立総合病院 医師住宅 2	廃止 除却		入居者退去時点での廃止・除却を検討	民間代替の検討	
岩見沢市立総合病院 看護師宿舎	廃止 除却				

【施設機能】	維持	移転・統合	廃止	協議		
【建物本体】	継続使用	建替	改修	譲渡	転用	除却

## 4. 計画の推進に向けて

### (1) 推進体制と進行管理

本計画は、上位計画である公共施設等総合管理計画とともに、庁内横断組織である「行政改革推進本部」及び「公共施設マネジメント部会」において、進捗状況や個別の再編の情報共有を図りながら、連携して計画の進行及び目標数値の管理を行い、計画を推進していきます。

また、再編の対象施設や実施時期については、定期的に見直しを行います（図4-1参照）。

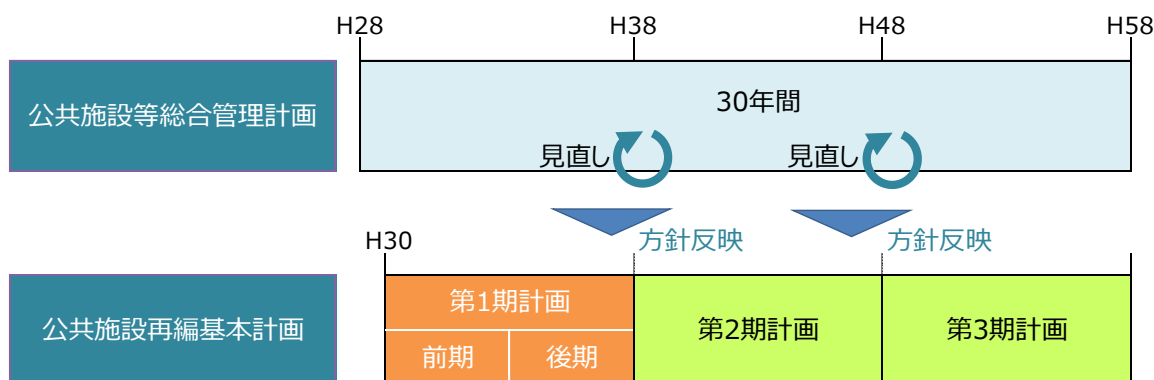


図 4-1 公共施設再編のフロー

### (2) 情報公開と市民参加

公共施設は、市民の生活にとって身近なものですが、公共施設マネジメントの推進により、施設がなくなることや、遠くにある施設を利用する必要がでてくることが考えられます。

施設（施設群）又は地区を単位とする個別施設計画の策定にあたっては、公共施設の実態に関する積極的な情報発信を通じた問題意識の共有を図るとともに、市民参加の場を設けるなど、市民との合意形成に努めるものとします。





**岩見沢市公共施設再編基本計画**

平成 31 年 3 月

岩見沢市企画財政部企画室

〒068-8686

北海道岩見沢市鳩が丘 1 丁目 1 番 1 号

電話 0126-23-4111 (代表)

FAX 0126-23-9977